

親の眼



第30回 全国高等学校剣道選抜大会 桜丘高校 3位入賞(令和3年3月28日)

目次

巻頭言	
理事長 コメント	1
大会結果	
全日本選抜剣道八段優勝大会	2
全日本剣道選手権大会予選会・ 全日本女子剣道選手権大会県予選会	
第52回愛知県春季少年剣道大会	3
第30回全国高等学校剣道選抜大会	
特別寄稿 剣道とスポーツ心理学	4
委員会報告	
医療安全委員	6
倫理委員会	
各部門だより	
居合道だより	7

杖道だより	7
実業団だより	8
道場連盟だより	11
中体連だより	12
高体連だより	
歴史探訪 秀吉と清正のふるさと	14
地区だより	16
令和三年・四年度 役員	20
おめでとう 昇段結果	21
令和3年度事業計画	26
資料室所蔵史料紹介 昭和25年ジャパニーズ フェンシング	

第45号



一般
財団法人

愛知県剣道連盟

令和元年より尾張剣道連盟会長の職を仰せつかり、それに伴い愛知県剣道連盟の副会長をも兼務することになりました、山本允圀でございませう。会員の皆様には何かとご迷惑をおかけするかと存じますが、どうかご指導ご厚情を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

また、この度「観の眼」の「巻頭言」の依頼を受けました。浅学な私には難しいことは書けません、剣の道について、常々思っている事を書いてみたいと思います。私も後期高齢者から終期高齢者になろうとしています。満身創痍な体のため、小学生を相手にした稽古しかできません。こんな老体のためか防具を担いだ時に、一層重く感じています。そこで思いました。子供から大人まで、こんなに重い防具を着け、体育館など固い板の間で、素足で、動きにくい袴をはいて、ドンドンと踏込み足の音を立て、激しく打ち合って稽古をしています。しかも面をかぶって耳を塞ぎ、面金で目を見にくくし、孤独感を感じながら相手と戦っている。この様な重装備で厳しい状態で行っている運動競技が他にあるのでしょうか。剣道は凄い、剣道の修練

こそ「人間形成の道である」とつくづく思い感じています。

剣道をやり始めた子供達や大人達、最初は分からないこと、できないことばかり。練習はきつい、つらい、でも「つらいけど乗り越える」「きついけど頑張る」と、弱音を吐きながらでもベストを尽くし、一生懸命頑張って稽古をしています。分からないこと、できなかったことでも反



巻頭言

「焦らず、一歩、一歩」

一般財団法人愛知県剣道連盟

副会長 山本 允圀まさぐに

復して訓練すれば必ずできるようになります。そして剣道が面白くなり、楽しくなってくるのです。きつく辛い剣道でも、これを面白く楽しさに変えていけば人間形成の道は永く続き、生涯剣道へと繋がって行くのではないのでしょうか。

剣道は勝ち負けを競う格闘技です。戦う以上は勝たねばなりません。訓練をする上で試合に出て勝つこと

を目標にして練習する人は多いと思います。試合で勝つことは、素晴らしいし、嬉しいし、達成感を味わうことができます。だが剣道は勝ち負けだけが全てではありません。そこまで行く過程が大事です。辛いこと、きついことを乗り越え、楽しさに変えながらも剣道を続けて行くことが、心身を鍛え、強い人となつて社会に役立つ人間に成長して行くの

です。

剣道は日々の訓練で心身を鍛え、立派な人間を形成して行くことを理念としています。この中には礼節を尊ぶ心を大事にしています。人間は一人では生きていきません。他者との繋がりがあって初めて生きていくのです。この繋がれた仲間の中に入っていくには、先ずは挨拶です。「おはようございます」「こんにちは」

「こんばんは」「お願いします」「ありがとうございました」と、仲間に加わり、お互いが切磋琢磨して剣の道を進んで行けば、自然と相手を敬い、思いやる気持ちや、感謝の心が湧いてきます。心身の強さの前に礼儀正しい人であることが何よりも大切です。

今年は「丑」年です。私の好きな牛に関する詩です。

牛は急ぐ事はしない、ひと足、ひと足、牛は自分の道を味わって行く遅れても、先になつても、自分の道を自分で行く

力強く、まわりにも振り回されず、道を行く牛が生きる上でのお手本のように

今年の初場所で優勝した「大栄翔」が言っていた

稽古は、地道に、コツコツと

洪沢栄一が言っていた

満足は、衰退の一步なり

継続は力なり。剣道には完成品がありません。いくつになつても修行です。焦らず、おごらず、くじけず、牛のごとく、ひと足ひと足自分の道を味わって進んで行きましょう。



未曾有の経験 今後の剣道に生かしましょう

一般財団法人愛知県剣道連盟

理事長 祝 要司

会員の皆様、一年間ご協力ありがとうございました。

5月26日、前富田孝夫会長がご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(二財)愛知県剣道連盟、関係団体の会員の皆さまには、日頃より当連盟の為に多大なるご支援、ご協力、ご援助賜り厚くお礼申し上げます。そのお陰により当連盟も順調に運営、活動をしてまいりました。しかし周知の通り、昨年度は今までは経験したことのない状況下での活動となりました。新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度当初より稽古の自粛、大会、審査会、講習会等の全ての事業活動を中止といたしました。3密(密集、密閉、密接)を避け、マスクの着用等会員の皆さま方には、窮屈な中での活動となったことと思います。ストレスの中の1年間であったと思います。心よりお詫び申し上げます。

当初終息も早いと考えられておりましたが予測のつかない状況となり、対

応策として急遽つぎの事項を実施してきました。

- ・稽古の自粛依頼
- ・事業活動の中止(大会・審査会・講習会・各種稽古会等)
- ・対人稽古自粛解除における稽古取り組みについて(令和2年6月7日制定)

さらに、詳細なガイドラインとして(今後の剣道活動に向けて、令和2年6月30日制定・4回改訂)を作成。現在まで実践をお願いしております。

【稽古を始める前に、礼法、素振り、打ち込み(剣道具無し)、稽古終了時の注意点、剣道具を装着した稽古(面マスク・シールドの着用、熱中症対策、3密の対策)】
審査会実施要領(コロナ禍における暫定実施要領)
大会実施要領(コロナ禍における暫定試合・審判法)
新しい生活様式

以上の内容がステップ1からステップ6に分けられております。愛知県剣

道連盟のホームページをご覧ください。き、あらゆる場面で生かしていただきたいと思います。

これからの時代、組織の強化を図る必要があると考え、医療委員会及び倫理委員会を含んだ特別委員会を立ち上げ、今まで以上にガバナンス、コンプライアンスの取組を実施する方向でお願いしております。

明る材料として、各地区段級審査会、四、五段審査会を秋より実施。大会も全日本選手権予選会と春季少年剣道大会を開催、どの事業におきましても一人としてコロナ発症者が出なかったことは喜ばしい事と同時に関係者のご協力、ご努力に深く感謝を申し上げます。この事は、しっかりと対策を施し取り組めば「剣道は危険だ」とする考え方を払拭することに繋がったと考えます。会員の皆様、自信をもって剣道に取り組んで頂きたいと思ひます。

令和3年度も同じ様に技術の修練がしっかりと出来ない状況が続くと思ひます。

多くの人がコロナで身の回りの環境が変わり、当たり前に稽古ができない今を逆境と捉えるのではなく、この経験を活かし、時間を有効に使うことが大切ではないでしょうか。自分の剣道を振り返り技術のみならず明確な志を

持つ精神を熟考する良い時間ではないでしょうか。【剣道理念・剣道修練の心構え・剣道指導の心構え】をもう一度考え見直す良い機会です。さらに、体力の減退を防ぐ自己トレーニングも欠かさないことが重要でしょう。昨年度の経験を活かし剣道活動を有意義なものに結び付けていきましょう。

当連盟は、この様な状況下でもより発展をして行かなければならないと考えます。

その為には、次の項目は重要な事項として今後取り組む必要があると考えます。

- 1、感染予防ガイドラインを主に、安全性を図り、大会、審査、講習会、稽古会の実施
- 2、幼少年剣道人口の減少傾向の阻止、人口増加への活動
- 3、講習会の実施による指導者の育成(特に審判法・指導法)
- 4、高齢者剣道の充実化(生涯剣道)
- 5、女子剣道の充実化(指導者・審判員の育成)

以上につきましては、会員そして関係団体の皆さま方のご尽力なくしては成し遂げられない事項です。令和3年度も全員一丸となり乗り越え明るい未来を作れば幸甚に存じ上げます。皆様方のご健康、ご活躍を祈念申し上げます。

全日本選抜剣道八段優勝大会

開催日…令和3年4月18日(日)
会場…愛知県名古屋市・中村スポーツセンター

教士八段・32選手、トーナメント制
愛知県からは、山崎尚先生が出場、善戦されました。
なお、当日はコロナ禍のため、無観客で行われました。

試合結果

優勝 栄花 英幸(北海道)
二位 鍋山 隆弘(茨城)
三位 竹内 司(岡山)
三位 吉田 一秀(大阪)



第68回全日本剣道選手権大会予選会・第59回全日本女子剣道選手権大会県予選会

開催日…令和3年1月31日(日)
会場…刈谷市体育館
参加人数…121名

男子

優勝 近本 太郎
二位 安藤 千真
三位 山田 将也
四位 藤原 郁哉



近本 太郎
(筑波大学3年)



安藤 千真
(立命館大学2年)

開催日…令和2年12月19日(土)
会場…中区スポーツセンター
参加人数…50名

女子

優勝 金子 遙花
二位 竹内 祐貴
三位 平山 まりん
四位 長田 茉琴



金子 遙花
(岡崎城西高等学校3年)



竹内 祐貴
(パナソニックデバイスSUNX株式会社)



平山 まりん
(トヨタ自動車株式会社)

第68回全日本剣道選手権大会
安藤千真ベスト8

開催日…2021年3月14日(日)
会場…ホワイトリング

長野市真島総合スポーツアリーナ

第68回全日本剣道選手権大会に出場して

立命館大学 体育会剣道部

2回生 安藤千真

「ここが全日本の会場か!!」今まで全国大会出場は団体戦のみでした。また、子供の頃から目標としてきた大会です。その荘厳な空気を肌で感じながら入場しました。

私は、愛知県の洗心道場に入門し、佐賀県龍谷高等学校へ進学、卒業し今に至ります。2021年1月31日に第68回全日本剣道選手権大会愛知県予選にて準優勝となり、故郷である愛知県の代表として同年3月14日の本戦に出場することができました。予選で出場を決めた時はとても嬉しかったです。本戦ではとても緊張しましたが、同級生選手の活躍や有名選手の試合を見て、「負けてはいられない」と自分を奮い立たすことができました。準々決勝では、高校時代からスーパースターだった星子選手と試合をさせていただきました。結果としてはベスト8でしたが、自分の未熟さを痛感しました。各県代表選手の試合、自分が打たれたところ、勉強させていただきました。この結果に家族は勿論、恩師である洗心道場の内田先生、龍谷高校監督の坂井先生も喜んでくださり、とても嬉しかったです。これに満足することなく、まずは学生選手権での優勝を目指し、日々精進していきたいと思っています。

第52回愛知県春季少年剣道大会

とき 令和三年三月十四日
ところ 千種スポーツセンター
愛知県内の、各地区予選を勝ち抜い



2位 東レ居敬堂



優勝 洗心道場（小学生の部）



3位 江南武道館



3位 誠礼館

た小学生32チーム・中学生男子16チーム、女子16チームが、（一財）愛知県剣道連盟のコロナ禍におけるガイドラインを遵守して、熱戦を繰り広げた。入賞された学校、団体の皆様おめでとうございました。

小学生

- 優勝 洗心道場（名古屋市中区）
- 2位 東レ居敬堂（岡崎市）
- 3位 誠礼館（瀬戸市）
- 江南武道館（江南市）

中学男子

- 優勝 青海中学校（常滑市）
- 2位 矢作中学校（岡崎市）

第30回全国高等学校剣道選抜大会

3月26日～28日まで春日井市の春日井市総合体育館で行われました。

昨年度新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりましたが、今年度は感染対策をしっかりと施して実施されました。

選手、監督、役員以外は体育館に入場することができず、なおかつ、時差入場・時差練習・時差試合・試合時間3分で行われました。また、試合会場に入場する際は、スポーツゲートスプレーという次亜塩素酸水を全身にスプレーしてから入場が義務づけられていました。

愛知県からは、男子は県大会優勝の桜丘高等学校、準優勝の豊川高等学校、三位の岡崎城西高等学校の三校。女子は県大会優勝の星城高等学校、準優勝の岡崎城西高等学校、三位の桜丘高等学校が出場しました。



優秀選手 加藤 奨貴

一回戦から僅差の戦いを制し、準々決勝では3月21日に行われた東海選抜大会で敗れた岐阜県代表の高山西高等学校を3対1で下し準決勝へ進みました。次の準決勝では、神奈川県代表の桐蔭学園高等学校と対戦し、1対1の結果となり、勝負はこの日何度も勝ちを呼び込んだ大将の加藤奨貴選手と相手も大将の代表戦になりました。3分では勝負がつかず、2回目の延長で足が止まった瞬間面を打たれてしまいました。

その他の学校は残念ながら一回戦で負けてしまいました。

（青山 記）

- 3位 津賀田中学校（名古屋市中区）
- 本城中学校（名古屋市中区）

中学女子

- 優勝 横須賀中学校（東海市）
- 2位 矢作中学校（岡崎市）
- 3位 二川中学校（豊橋市）
- 一宮中学校（豊川市）

特別寄稿

剣道とスポーツ心理学

「見取り稽古」の

科学的メカニズムとは？



中京大学大学院
スポーツ科学研究科
実験実習助手
若月 翼

はじめに

日本に古来から伝わる伝統的な学習法、「見取り稽古」。熟練者の動きを見るだけで実際に自身の身体を動かして稽古をしたような効果が期待できるこの学習法には、どのような秘密が隠されているのでしょうか。

本稿では、これまで行われてきたいくつかの研究結果をもとに、見取り稽古の科学的なメカニズムの一端をのぞくと同時に、コロナ禍における見取り稽古の立ち位置について考えてみようと思います。

見る・感じる・動く「ピックッ」

読者の皆さんは、剣道に限らず、他人の運動を見ている際、その動きに合わせて思わず体が「ピックッ」と動いた

経験をお持ちでしょうか？

これは、運動共感と呼ばれる、他者の運動をあたかも自分の運動のように観察する能力に付随した現象と考えられています。図1はその概念図です。運動観察者は運動実施者の運動①を一人称的に捉え、仮想的に自己運動②を行うことで、運動共感②を起こしています。他者を他者として鳥瞰する三人称的観察ではない特殊な観察方法により得られる運動共感こそ、見取り稽古の基本をなす原理と考えられるでしょう。

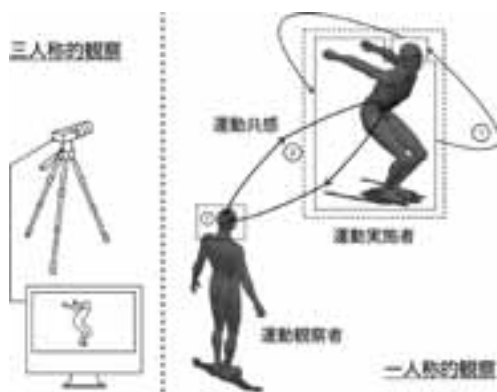


図1 運動共感の概念図

しかしこの運動共感、これまでの研究では経験則による報告がほとんどであり、さらに数少ない実験による報告も、観察者の筋が僅かに収縮するというものにとどまっています。しかし実際には、筋が収縮するだけでは動きは生成できず、巧みな動きを生み出すためには、運動を制御することが必要です。

そこで我々は、垂直跳びの跳躍高を調整する課題を用いたユニークな実験を考案し、他者の運動を観察することが細かい調整を必要とする運動の学習に役立つかを検討しました。

他者の経験を盗む

私たちは本来、「このくらいかな？」という感覚を持って運動を遂行し、それによって得られた結果との照合を繰り返すことで運動を学習していきます。すなわち、自身の学習に他者が介入する余地はありません。しかし見取り稽古では、自分のものであるはずのこれらの情報が全て他者のものであるわけです。

実験対象者は、全力で跳躍した後、その記録の50%の高さ(例…全力時に50cmを記録した対象者であれば、25cm)に調整しようとする課題を一人で四回行う個人条件(全12名)と、四人で一回ずつ順に行うグループ条件(全12組)のどちらかに参加しました。

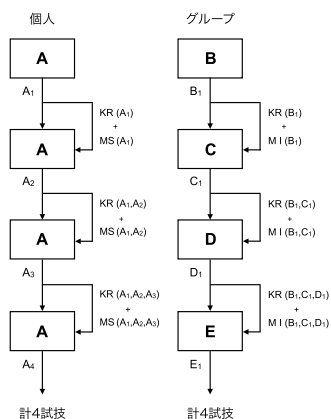


図2 実験の概念図

実験結果を図4に示します。縦軸が全力試技に対する調整試技の割合、横軸が試技数および試技者数を示してい

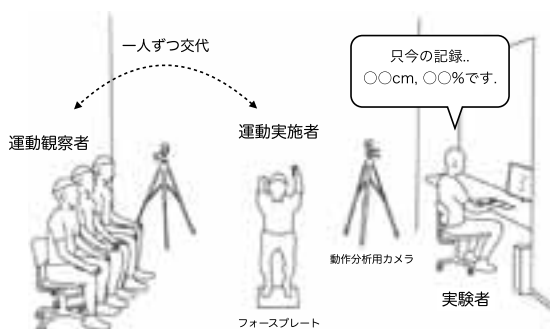


図3 グループ条件の実験風景

図2は実験の概念図で、図中左の個人条件は対象者Aだけであるのに対し、図中右のグループ条件は全く異なる対象者(B、C、D、E)が四人で参加しています。また、MSが自身の運動感覚、KRがそれによって得られた結果の情報、そしてMIが他者の動きに含まれる運動情報です。MIは他者運動を観察することにより獲得できます。両条件の共通点として、試技数もしくは試技者数が増えると、得られる情報も多くなっていく仕組みになっています。図3はグループ条件の実験風景です。対象者たちは、あくまで自分自身の目標に向けて跳躍しました。

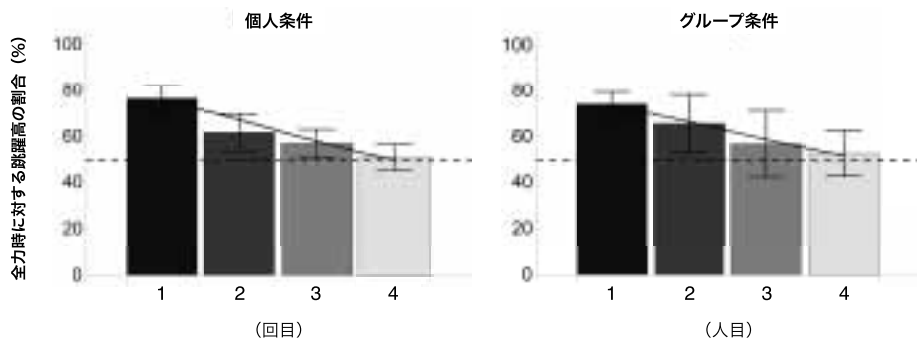


図4 実験結果

ます。当然ながら個人条件では試技数が進むにつれて目標値に近づきましたが、驚くべきことに、グループ条件でも試技者の順が進むにつれて徐々に目標とする跳躍高（対象者それぞれの50%高、図中の破線）へと収束していったのです。グループ条件の対象者は一人につき一度きりの跳躍であったにも関わらず、四回のチャンスを与えられ

た個人条件と同様の変化を見せ、さらに四人目の最終試技者Eに至っては、自身にとって一回目の試みで目標に最も近い跳躍高を記録しました。

さらにその上で、それらの動作を詳細に分析すると、手ごたえとも言い換えられる「一瞬の力感」に関係があると考えられる力学量の変化が、細かな運動の制御に有用な情報として自己・他者間で伝達されている可能性が高いことが明らかになりました。

実稽古と組み合わせる

この実験は、他者の運動経験を自己の運動調整に役立てられることを示しており、これは熟練者の動きを見て学ぶ見取り稽古のメカニズムの一端を示していると言えます。そしてその際に有用な情報は、フォーム（Ⅱ型）ではなく一瞬の力感でした。見取り稽古をする際には是非、お手本になりきって観察し、型の背後に潜む力の入れ方やその感覚に着目することをお勧めします。

それに関連して、見取り稽古は全くその動きをしたことのない人には向いていないこともまた事実です。なぜなら運動共感、自身の中に内部モデルと呼ばれる、ある一定の動きのイメージを持っている人にしか起こらないからです。ですから、剣道をほとんどやったことのない私がいきなり見取り稽古から入ったとしても、お手本の力感情

報を得ることはできず、効果はいまいちでしょう。したがって、見取り稽古は実稽古と組み合わせで行うことが、大きなポイントになってきます。

最後に

見取り稽古と新型コロナウイルス

現在、世界は新型コロナウイルスのパンデミックにより混乱に陥り、それに伴い、自身の身体を実際に動かして稽古（練習）に励む時間は短縮されています。そんな今こそ、剣道を含む武道から生み出されたとされる見取り稽古は、武道の枠を超え、古くして最先端の運動学習法になり得るのではないのでしょうか。

この研究についてももう少し詳しく知りたい方は、左のQRコードをスマートフォン等で読み込み、中京大学のプレスリリースをご覧ください。

元となった原著論文（参考文献3）は、こちらのQRコードのリンク先からダウンロードしていただけます。



主な参考文献

1. 金子明友・朝岡正雄（編）（1990）. 運動学講義. 東京：大修館書店.
2. Meinel, K. (1960). Bewegungslehre. Berlin: Volk und Wissen Volkseigener Verlag. (マイネル, K. 金子明友（訳）（1981）. マイネル・スポーツ運動学. 東京：大修館書店)
3. 若月翼・山田憲政（2020）. 他者の運動情報は自己の運動調整に役立つか：仕事率でつながる自己と他者の運動制御. 認知科学（特集 若手研究者の認知科学）, 27(3), 295-307. doi: 10.11225/cs.2020.024

※図は全て3から引用。

著者紹介

若月 翼

1994年4月生まれ。

中京大学大学院スポーツ科学研究科実験実習助手。博士（体育学）。

2017年中京大学スポーツ科学部卒業、2018年同大学院体育学研究科修士課程修了、そして2021年同博士課程を修了し、現在に至る。心理学と力学の繋がりに興味があり、運動感覚への接近、コツの伝承、美しい動きの定量化等を主な研究テーマとしている。

医療安全委員会報告

医療安全委員
大仲 良仁

愛知県剣道連盟会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。医療安全委員会の大仲と申します。『観の眼・第四四号』の巻頭言において、祝要司理事長は十部門の委員会の紹介を行っており、特に当委員会については「時代の流れと共に必要となる活動の充実」を目標に掲げていらっしゃいます。折しも新型コロナウイルス感染症による剣道稽古自粛期間が令和二年六月四日付けで全剣連より解除され、コロナ禍における対人稽古再開に向けて愛知県剣道連盟においても稽古取組みについてのガイドライン作りが急務となりました。理事長、事務局長を中心に山田英貴医師、志津匡人医師と共にお手伝いをさせて頂き令和二年六月七日付けで『今後の剣道活動に向けて』の作製に至りました。コロナ禍による剣道活動自粛のため、大会や審査会などの事業も中止となっており、当委員会としての「活動の充実」の第一歩となりました。会員の皆様は一度はこのガイドラインを目をとおして頂いていると思いますが、現在はステップ5の段階で審査会、一部の大会を感染防止対策を徹底して再開できる状況になってきています。特に令和二年一月に枇杷島スポー

ツセンターで行われた全剣連主催の七・六段審査会においては、受審者の誘導、アルコール消毒、密の回避など新しい審査会のあり方として初の試みを愛剣連の役員の方々の努力で成功裏に導くことが出来ました。この経験を基に愛剣連、各地区剣連主催の審査会、大会なども感染防止対策を徹底して問題なく再開されています。新型コロナウイルス感染症の予防として大事なことは個々の体調管理は元より、飛沫の予防・対策、アルコール消毒、充分な換気だと考えます。私自身、多方面での稽古会に参加させて頂く機会がありますが、どの地区の稽古会にお邪魔しても体温管理、飛沫対策、換気には十分に配慮されており、感染拡大やクラスタの発生などは起こっていません。私見にはなりますが、他のスポーツ競技に比して剣道界の感染予防に関する意識の高さは誇れるものがあると思います。全ての会員の皆様の剣道愛の賜物と感謝申し上げます。

今後の医療安全委員会の活動目標として、新型コロナウイルス感染症の状況把握、対応は継続しつつ、①全剣連との情報共有（傷害、疾病の調査、報告）、他都道府県剣連との協力。そして愛剣連内での傷害、疾病の調査、報告。②健康安全に関する啓発、普及活動。③試合、大会、審査会などの事業での救護サポート。④強化対策でのメディカルサポート、フィジカルサポート。⑤社会体育指導員養成講習会との連携を掲げ、当委員会の活動を「充実」させて頂きたいと存じます。会員の皆様のご理解、ご協力を賜れば幸いです。よろしくお願い申し上げます。

倫理委員会報告

倫理規程及び処分基準について

総務委員長
中川 治彦

スポーツ界における不祥事が後を絶たず、ご承知のようにマスコミ等で何度も取り上げられ、波紋が広がっています。不正経理、暴力、ハラスメント、不正薬物の使用、金銭授受、その他多くの事例がみられます。

芸道（武道も含めます。）の世界では、これまでも時として、特に資格における免許や階級制度が権威主義に陥り知らず知らずのうちにヒエラルキーを生み、このことが負の要素として働き深刻な事案につながったこともありました。

こうしたことは、組織や団体に対して、インテグリティ（組織や団体における高潔さ・真摯さ・品位や正直さ）を保つうえで脅威に繋がりがありません。

スポーツにおけるインテグリティとは、スポーツ活動（競技・組織運営・行動・その他）における正義をどのようにして確立し維持・発展させるべきかを考えることです。

このスポーツにおけるインテグリティ確保を如何にするかがスポーツ団体における喫緊の課題となってきました。このインテグリティを構成するのが

ガバナンス（団体における組織及び運営の透明性を高め、正しく構築すること）とコンプライアンス（法令遵守・きまりを守ること）です。

我が国ではスポーツ庁を中心に、日本スポーツ協会がインテグリティの確立に向けた取り組みをしています。さらには、全日本剣道連盟もこうした動向を踏まえ、剣道活動の全般にわたる倫理の確立・強化を図ってきています。（このことについては、全日本剣道連盟の広報誌『剣窓』をご覧ください。）

愛知県剣道連盟においてはこうした背景に鑑み、このインテグリティの構築を目指す一環として、新たに「倫理委員会」と「医療・安全委員会」の二つの専門委員会を設置いたしました。

愛知県剣道連盟においても早急な対応が必要であると認識し、特に「倫理委員会」の設置に伴い基準となる倫理規程と、運用の判断となる処分基準について、総務委員会を中心に策定作業を進めて参りました。

愛知県剣道連盟では「一般財団法人愛知県剣道連盟における倫理に関するガイドライン」と「倫理規程」を令和二年七月十八日に施行しました。

この中では、規程に適用されるすべての者が遵守すべき事項として、暴力・各種ハラスメント・差別・試合の不正操作・違法賭博・ドーピング・薬物乱用等の違法行為・剣道の精神を損ねるような社会規範に照らして不適切な行為をあげています。

またガイドラインでは、「反倫理的行為に起因する事項（身体的精神的暴力行為等）・（身体的精神的セクシュアルハラスメント）・（差別）・（アンチドーピング

及び薬物乱用防止)・(役員及び監督、審判員等の指導的立場にある者並びに選手等の関係のあり方)・(称号段位審査員と受審者との関係)について示しています。さらに「不適切な経理処理に起因する事項として(経理処理)・(不正行為)」を、「各種大会における代表選手、役員の選考に関する事項」、「安全、事故防止及び一般社会人としての社会規範に関する事項」等についてもまとめています。

これらについての違反に対しては、処分を行うこととし、処分の基準や内容・方法などをあらかじめするための基準を策定いたしました。ここでは、処分の種類を、「注意(口頭注意と文書による注意)」、「会員資格停止(有期の会員資格停止と無期の会員資格停止)」、「会員資格剥奪」を定めています。

「処分基準」では、事案が発生した時には、適正かつ速やかに対応し、問題の解決を図るための根拠を示しました。

もちろん処分をするために規程・基準を策定したわけではなく、あくまでも事案の発生を未然に防ぐことが第一であり、加えて再発防止を徹底するという考え方が基本理念となっています。

剣道を愛好する私たちは、全日本剣道連盟の『剣道修練の心構え』並びに『剣道指導の心構え』を実践することを通して『剣道の理念』の具現化に努めることが重要であると考えます。そして、その取り組みこそが剣道におけるインテグリティの確立に繋がるものと理解しています。

これを機会に、一人ひとりの剣士、また、道場・教室・部活動が、さらにはそれぞれの地区、あるいは団体の活動が一

層充実し発展されることを切に願っています。

居合道だより



居合道委員長
水野 隆

コロナウィルス感染が始まって以来、居合の行事もほとんどが中止となりました。その中二度の審査会が行われ受審者はほぼ半数になりましたが、事務局指導の下、審査員は面ガード、マスク。受審者はマスクを付け、間隔も広く取り、三密に気を付け無事終了出来ました。感染者発生のない事に心より感謝申し上げます。又各地区、道場に於いても稽古等制限の中大変な苦勞をされたことと思いますが、感染者も無くお礼申し上げます。



小中学生の演武

居合は県内の大会が少なく毎年県外の北九州居合道大会、高知大会、東北日本居合道大会、等に多くの選手が参加していますが全て中止。一日も早く感染が収まり、活気が戻る事を祈念するばかりです。祝理事長よりコロナ禍の中、居合道を奨励して頂きました。是非剣道家の皆さんに刀を手にしていただきたいと思っています。元々全剣連居合は剣道家の人の為に作られ、剣道人ならば少なくともこの程度のことは知っている、と作られたものです。少しでも剣道の稽古にお役にたてればと思います。

居合は一人稽古(対仮想敵)で行います。道場が使用できなくても何時でも、何処でも工夫次第で稽古が出来ます。コロナ禍の中、愛剣連ガイドラインに沿って安全に稽古に取り組み、終息を待ちたいと思います。居合道、剣道の普及・発展の為に更に努力して参りたいと思います。

愛剣連の皆様には、コロナ禍の中に於いて居合道に理解とご支援を頂き心よりお礼申し上げます。

杖道だより



杖道委員長
前田 新吾

令和2年は新型コロナウイルスに翻弄された年でした。3月には合同稽古も中

止になり、その後は、各地域の稽古場所です。夫々稽古を重ねていましたが、それも段々使えなくなり、一人稽古を余儀なくされたりしました。11月には合同稽古が再開しました。杖道人口は剣道・居合道に比べて少ないので、密になることはなく、検温、マスク着用、手指消毒、武器貸し借り禁止と、コロナ対策をして稽古に臨みました。

杖道は、相対での稽古が主ですが、一人での稽古もできます。一本の素朴な櫓の棒と少しの場所があればできます。令和3年1月20日に理事長から「コロナ禍における剣道の取り組みについて」居合道、杖道、リズム剣道のすすめ」が出されています。杖は、前後、左右、表裏がなく、「突けば槍、払えば薙刀、持てば太刀、杖はかくにも外れざりけり」と言われています。手の幅一杯に取って杖を振れば、手の内も鍛えられ、健康にも良いと思われま

本年10月17日に「全日本杖道大会」が愛知県剣道連盟主管の下、中村スポーツセンターで開かれる予定です。コロナ禍の動向が不明ですが、無事開催されることを願いつつ、杖道委員会としては、出場選手の養成、強化、並びに受入体制の構築等、事務局のご指導の下、万全を期していきたいと思っております。愛剣連の皆様方には、ご支援、ご協力をお願いすることもあろうかと存じますが、どうかよろしくお願い申し上げます。

実業団だより

中部地区実業団剣道連盟

事務局長 神谷 光顕 みつあき

令和2年度を振り返ると、誰もが「新型コロナウイルス」が筆頭に出てくることでしょう。一年前は、新元号の開始や近づく東京オリンピック・パラリンピックに世間は湧き立ち、度重なる災害からの復旧・復興需要を背景に景気の回復が期待される年でした。しかし、この一年で誰も予測していなかったであろうコロナ禍に見舞われ、生活様式までも変えざるを得ない状況となりました。

働き方の面では、オリンピック・パラリンピック開催時の混雑回避の手法として推奨された「テレワーク」が一転し、感染拡大防止の観点から一気に普及しました。実業人として、新しい生活様式をいち早く取り入れつつ、経済を止めないよう、Web会議やオンラインでの社内コミュニケーション、リモート下でのプロジェクトマネジメントを試行錯誤しながら、生産性を高める工夫を手探りした一年となりました。

本連盟では、コロナ禍の影響を受け、五十年以上続いた中部地区実業団大会

（6月団体戦・10月個人戦）が中止となり、全日本実業団大会も同様に中止となりました。

各企業に於いても、福利厚生施設の利用休止やクラブ活動の自粛を指示する企業もあり、実業人剣道にも多大な影響を受けた年となりました。

本連盟では、令和2年度のクラブ活動実施状況を把握し、今後の運営のあり方や新たな取組みを検討していくことを目的として、アンケートを実施しました。

アンケートの結果では、独自でガイドラインを作成し、コロナ禍においても創意工夫を凝らして稽古を継続する企業、感染拡大防止の観点から全ての活動を自粛する企業など、各社の対応は様々となっております。

自由意見で募った稽古の取組みとしては、対人稽古による密接を避けるため、基本中心のメニューを組み立てたり、「足捌き」や「日本剣道形」の稽古の時間を加える等、普段なかなか取組みが薄かった稽古を取り入れる企業が多く見られました。また、興味深い取組みとして「オンライン素振り会」を実施している企業もありました。

多くの企業で課題として挙げられたのが、コロナ禍による「部員数の減少」「若手部員の剣道離れ」「剣道へのモチベーション維持」となっており、コ

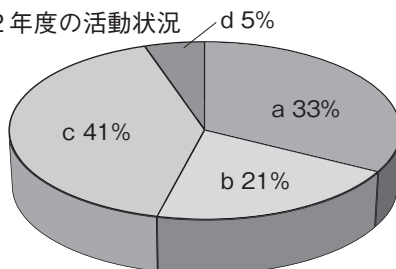
ロナ明けの活動を不安視する意見が多く挙げられておりました。

これに対し、コロナ禍の今、大会に固執するのではなく、実業人剣道の取組み方について、部員への意識づけや生涯剣道として、今だからこそ取組める稽古を模索する意見も多くあり、「日本剣道形」や「居合道」「剣道史」など各種講習会の開催を希望する声もあげられていました。

本連盟としては、アンケート結果を基に、新たな運営方法を模索していく所存であり、一日も早いこの事態収束を祈念致す次第であります。

Q1：令和2年度の現在のクラブ活動の実施状況をお聞かせください。

①令和2年度の活動状況



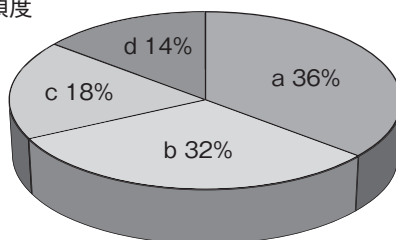
a: 通常通り b: 回数を減らして実施 c: 活動休止中 d: その他

※全回答の内、緊急事態宣言下での活動継続は2件

〈38社39事業所より回答〉

Q2：前問1で「a」又は「b」と回答した方に質問です。活動頻度についてお聞かせください。

②活動頻度

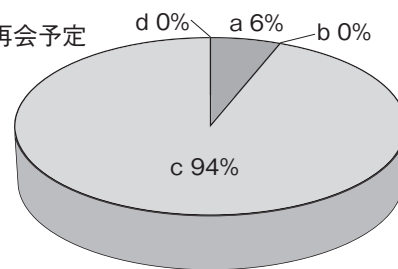


a: 週1回 b: 週2回 c: 週3回 d: 不定期 e: その他

〈38社39事業所より回答〉

Q3：前問1で「c」と回答した方に質問です。活動再開の予定はいつからですか？

③活動再開予定

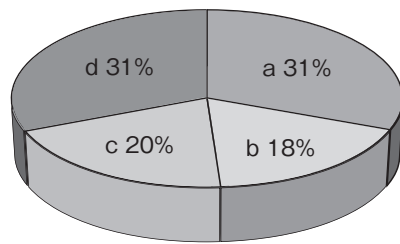


a: 緊急事態宣言解除後に再開 b: 感染者数により再開を判断
c: 再開の見通しは立っていない d: その他

〈38社39事業所より回答〉

Q 4：令和2年度の現在（R2.4.1～R3.1.31）までの活動実施回数をお聞かせください。

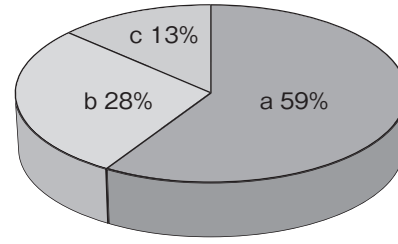
④令和2年度の活動実施回数



a: 0回 b: 1～10回 c: 11～20回 d: 21回以上
〈38社39事業所より回答〉

Q 5：稽古（クラブ活動）の実施に関する判断は誰がしていますか？

⑤活動の実施判断



※その他の意見
（施設利用状況による判断）
（道場主による判断）
（会社や剣連方針に従い、クラブで総合的に判断）
（全剣連や愛剣連に準拠）

a: 会社方針 b: クラブ活動 c: その他
〈38社39事業所より回答〉

自由意見欄（コロナ禍での稽古実施において新たな取組み等がありましたらご紹介ください。）

※【】内の数字は、同一回答数

- ・稽古前に自己体調チェック（検温、体調確認他）を実施。不調者は道場に入らない。
- ・面マスク＋フェイスシールド（口元）の着用は必須【4】
- ・使用箇所の消毒（扉などの消毒。床は消毒液をまきながらモップ掛け）
- ・道場出入口に消毒液を設置し、入退場時には手指・足裏の消毒を実施【3】
- ・道場への入場記録
- ・参加者の人数制限【3】
- ・社外の受け入れ禁止【5】
- ・細目な休憩【3】
- ・道場（体育館）の換気【3】
- ・稽古時間の短縮（基本20分、地稽古20分程度）
- ・出稽古の禁止（各地区剣連や団体等の稽古会等）
- ・クラブとしては会社施設が使えないため活動を休止中だが、有志で公共施設を借用し個人的に稽古を継続（施設利用状況により不定期開催）【3】
- ・鰐競り合い無しの稽古を、換気の効いた室内で実施している。
- ・基本打ちは面を付けず、打込み台を使用して実施
- ・対人稽古はせずに、足さばきの稽古や素振りを中心に稽古を実施【4】
- ・足さばきの稽古（防具なし・無声、送り足、継足、連続打ちの足さばき、継足無しでの踏み込み等）
- ・日本剣道形を実施【5】
- ・フィジカルディスタンスを確保
- ・自主トレーニング（自宅での素振り、密とならない場所でのランニング、筋トレ）【3】
- ・フェイスシールドは、曇る・呼吸しづらいため、利用しなくなった。
- ・稽古時はウレタン製マスクを着用
- ・半年間稽古が出来ない間は、オンラインで素振り会を実施
グループ会社剣道部の有志も含めて、昨年の4月末から週末や夏季・冬季の長期休業中に実施。稽古再開した現在も週1で継続実施中
- ・屋外グラウンドを活用して走り込みなどの体力強化トレーニングを実施。地味なトレーニングでも部員たちと集まり活動することで充実し、心身共にリフレッシュできる
- ・社内とは別に個人でそれぞれ活動を継続（地元の道場や少年団の指導等）【4】
- ・コロナ禍において（緊急事態宣言前も）部員のための制約付きで稽古を継続中。緊急事態宣言中は更に密にならないよう、稽古を人数によって時間分散している。
- ・基本稽古中心または、基本稽古のみのメニューに切替えて稽古を実施【6】
- ・6月から会社独自のガイドラインを制定し、人数制限（当初は10名、現在は20名）を設けて活動を実施。緊急事態宣言後は、クラブ判断で無理はせず解除まで自粛中。

自由意見欄・その他

※【】内の数字は、同一回答数

- ・コロナ禍において剣道部員が減少している【3】
- ・コロナの影響によるクラブ活動自粛から集まりが減り、剣道への熱意が冷めてしまうものがある。
- ・稽古参加者が減少【3】
- ・試合がないこともあり、若手の稽古への参加率が低下【2】
- ・会社でのみ稽古をしていた者は、クラブ活動自粛により稽古の場をなくしてしまったものがある。
- ・コロナ禍で稽古回数が減少しているが、この期間で業務の自己啓発や体幹強化など前向きに捉えて有効に時間を使うよう部員で申し合わせをしている。
- ・稽古がまったく出来ない状況では大会が開催されても出場できないと考えている【2】
- ・会社より大会参加への自粛の指示が出ている【2】
- ・稽古再開後、運動不足によるケガが心配【3】
- ・今後の部員数減少が不安【4】
- ・全日本実業団および中部実業団大会に第一回大会からの連続出場が途切れるのを懸念
- ・地稽古だけが剣道の稽古ではないと自覚し、若手部員のモチベーションをあげる練習法や指導方法を模索中。
- ・活動再開時の部員の意識がコロナ前に戻れることが重要で、コロナ禍の今、部員の意識付けを行えればと思っている。
- ・コロナ禍で試合ができないことから、学生たちに「大会を開催してあげたい」という風潮があるが、企業人としては大会に固執せず、生涯剣道として今できることをやりたいと考えている（一人稽古・面を着けずに行う稽古など）。
- ・コロナ収束後は、大会以外で講習会などの企画をして欲しい（ケガ防止のため）。【3】
- ・日本剣道形などは、昇段審査前に取り組むことが多いが、この機会にしっかり取り組みたい。
- ・日本剣道形の講習会を開催して欲しい（この機会にじっくり教えて頂ける機会が欲しい）。
- ・部内だけは安心というわけではないが交流稽古もしたい。
- ・コロナ禍に伴い、発声や鐙競り合いを制限する練習方法も検討していきたい。
- ・社内で新型コロナウイルスの感染者を年度当初に出し、会社からの感染リスク排除の観点によるクラブ活動休止の指示はないが、クラブとして活動を自粛中。
- ・会社福利厚生（屋内）施設の利用禁止に伴い、活動休止中。【4】
- ・一般の体育館を借用しているため、使用料など参加者で負担（会社補助なし）
- ・会社施設が利用できず、公共施設の場合は予約が取れないこともあり、稽古場所の確保に苦労している。また時間の制約も厳しい。【2】
- ・昨年6月の活動再開後、実は一度周辺住民等から「コロナの中で集まって剣道をしている」と警察に通報されたことがある。世間も敏感になっており、それ以降はあまり声を出さず、換気も必要最低限の窓のみとして実施している。周りに気を使う必要もあり、以前のような稽古はできていない。
- ・コロナ禍の中で、稽古に取り組んでいる企業等があれば、どのような対策を取って活動しているのか紹介して欲しい。【2】
- ・当たり前のことを、徹底してやるしかない。何を講じても感染リスクはあるので、リスク確率を減らして稽古する。また、居合道であってもリズム剣道であっても、感染リスクは存在するので、剣道の稽古をしたいと思う。

表紙の写真（撮影者コメント）

大会を終わり、入賞した桜丘高校男子チームの喜びと安堵の一瞬をスマホにおさめることができました。

選手の皆さんには、この写真が生涯に亘って、思い出の一枚となるでしょう。

素晴らしい写真が撮れて、本当に嬉しい。

（広報委員 青山光加）



オーダー

先鋒 大前 龍海（大阪・新東淀川中学校）
中堅 大谷 琉騎（萩山中学校）
大将 加藤 奨貴（桜田中学校）
補欠 中西 陸人（本郷中学校）
監督 鈴木 武洋

（ ）内 出身中学校

次鋒 小野田 貴文（豊川東部中学校）
副将 梅田 健太（豊川東部中学校）

小林 凜音（東京・国士舘中学校）

道場連盟だより

令和2年度

愛知県剣道道場連盟研修会

中学生研修会

令和2年度愛知県剣道道場連盟研修会・中学生の部を行いました。

開催日…令和2年12月13日

会場…愛知県武道館

参加者…20団体 126名



中学生の審判法研修の様子

小学生研修会

令和2年度最後の愛知県剣道道場連盟研修会・小学生の部を行いました。

開催日…令和2年12月27日

会場…愛知県武道館

参加者…22団体 230名

閉会式では、令和2年度愛知県剣道少年団主催体験発表会の表彰も行いました。



小学生の審判法研修の様子



小学生リーグ戦の様子

第107回
愛知県剣道道場連盟
研修会

令和2年度最後の「第107回愛知県剣道道場連盟研修会」を名古屋市中村スポーツセンターにて行いました。

本年度、コロナ禍の影響もあり、愛知県剣道道場連盟の行事も一部のみとなりました。

少ない行事でしたが、多くの皆様からのご協力を賜り誠にありがとうございました。

令和3年度も愛知県剣道道場連盟をよりしくお願い致します。

活動報告

令和2年度の道場連盟の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、全国道場少年剣道大会愛知県予選会をはじめ、個人戦の全国予選、道場対抗の全国予選、また、その全国大会等がすべて中止となり、本連盟の最大の大会、近藤杯も中止となり、小学生、中学生には試練の一年となりました。しかし、十二月より、研修会等を開催し、道場連盟の士気を少しでも上げるよう、また、役員一同コロナ感染症対策を徹底し左記の如く開催しました。

一、十二月十三日中学生研修会。愛知県武道館にて、百二十六名の参加。

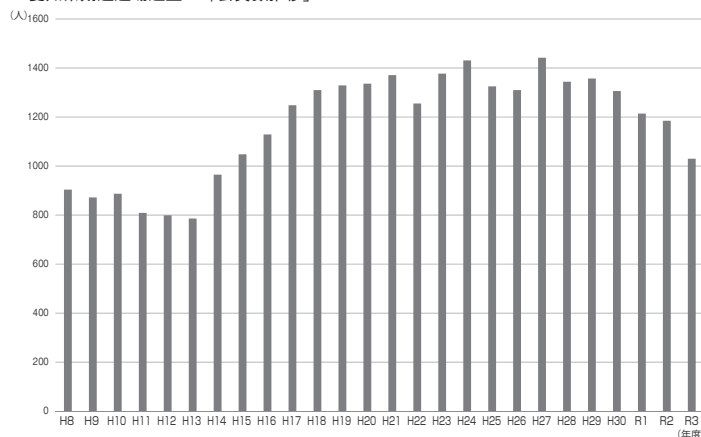
二、十二月二十七日小学生研修会。愛知県武道館にて、二百三十名の参加。

三、第107回研修会を令和三年三月二十日、中村スポーツセンターにて、三百八十名の参加。

第四十三回日本剣道少年団研修会体験実践発表会、中学生の部 敢闘賞 東 駿和。(江南武道館)。令和2年度優秀少年団員、木股稜太(千代が丘剣道教室)、中島 蓮(東レ居敬堂)、東 秀優(修徳館日比野道場)。

*愛知県剣道道場連盟の会員数推移は、左記の通り減少をしている。

愛知県剣道道場連盟 「会員数推移」



中体連だより

コロナ禍での中体連剣道

愛知県中小体連剣道専門委員長

福島 徹哉

中体連では、現在のコロナ禍の取り組みについて、すべての大会が中止となり、部員たちの活躍の場は、全くない状況です。

そんな状況下、稽古方法も自粛の中で、愛剣連から提示された「今後の剣道活動に向けて」と各教育委員会から提示されている「部活動の対応について」のガイドラインに準じて、各学校では新しい稽古方法の取り組みを駆使し、春から現在にかけて、感染症対策の徹底を図りながら、稽古に励んでいる日々を過ごしている。部員にとっては、試合がない中で、剣道に対する気持ちを維持させることが、正直厳しい環境です。しかし、秋から各地区で、級・段審査が再開したことで、合格を目指してそれぞれに課題を見つけ、稽古に励むことができるようになってきたことは、少し救われた思いもあります。

今後、コロナとの付き合いは、まだまだ続くことと思います。対策を考えて、全国大会につながる試合等が開催できるように、新しい情報を取り入れ、部員たちが、元気に活躍できる環境を

整えながら、取り組んでいけるようにしていきたいと考えています。そのためにも、中体連の先生方との連携を計り、剣道を志す部員たちのために、ご理解とご協力をいただきながら、進めていくことが、一番必要なことだと考えています。中体連の先生方と心をつなにして、部員たちの「夢」を応援できるように、取り組んでいきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

高体連だより

令和2年度愛知県高等学校 新人体育大会剣道競技大会

12月5日(土)・6日(日)

スカイホール豊田



愛知県高体連
剣道専門委員長
田中 勝明

令和二年度より高体連剣道専門部委員長を拝命して間もなく、皆様ご存知のように新型コロナウイルス感染症により、当たり前であった日常が、突然、奪われてしまいました。

現三年生にとっては、生涯忘れる事の出来ない一年であったと思います。我々高校剣道指導者もまさに「断腸の思い」で一年を過ごしました。愛知県高体連剣道専門部として、愛知県の三年生剣士たちに、こんな手紙を送らせて頂きました。

【このたびの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、君たちの目標としてきたすべての事が奪われてしまいました。専門部としても、諸先生方と話し合いの機会を設けましたが、残念ながら君たちの有終の美を飾るような大会を開くことは出来ませんでした。君たちの胸中には、悔しさ、むなしさ、いろいろな感情があると思います。その感情の大きさが、剣道に懸けてきた証であると信じています。その思いを胸に「次」に向かって大きく進んでください。いつかきっと、これまで努力を重ねて培ってきた実力を発揮する日が必ず来ます。

残りの高校生活で新たな目標をたて、しっかりと前を向いて進んでください。どうか、スポーツの勝ち負け以外の魅力を感じられる人、伝えられる人になってください。」

沈んだ気持ちのまま、時が過ぎていく中、いよいよ、諸先生方のご理解を得て、令和二年十二月、延期となっていました、愛知県高等学校新人体育大

会、県大会を開催することが出来ました。三月に開催される全国高等学校剣道選抜大会の出場校を決める大会です。

是非とも、出場を決めた、各校の選手諸君愛知県代表として、胸を張って、全力で大会に臨んでいただきたいと思っています。

最後に、今後とも愛知県高体連の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

男子決勝戦

豊川高等学校対桜丘高等学校

先鋒 磯貝対大前

両者ともに立ち上がりから手堅く、思い切った技がなかなか出ない。上手く機会を捉えて引き面を打つが、十分で引き分け。

次鋒 平野対小野田

試合開始30秒、平野が居ついたところを小野田は見逃さず面に出たが、惜しくも一本にはならず。審判員の分かれの直後、平野が焦って前に出たところを、小野田は表から強く竹刀を押さえながら、鋭く面に出て一本勝ち。

中堅 佐々木対大谷

佐々木は珍しい右上段をとる選手。

しかも試合の流れの中で、左手を前にしたり、右手を前にしたりと上段の構えを自在に変え、相手を翻弄する。しかし、大谷も絶妙な応じ技を繰り出したり、先に仕掛けたりと応戦するが、お互いに有効打突が無く引き分け。

副将 松井対梅田

序盤は、梅田が優勢に試合を進める展開となった。梅田の攻めに、松井の手元が微かに浮いた瞬間を小手に出て、捉えたかに見えたが、一本にはならず。中盤、梅田が攻めあぐね、足が止まった瞬間、松井は剣先を大きく開きながら大胆に間合いを詰め、面を決めた。試合終了間際、松井が小手に出るが足が止まり、すかさず梅田が引き面を決め、流れを引き戻す引き分けとした。

大将 谷口対加藤

桜丘は一つリードで大将戦としたが、加藤は終始、攻めの姿勢を貫いた。加藤が小手から仕掛け、谷口は防ぎながら間合いを切ろうとするが、加藤は逃さず、追い込み面を決める。つばぜり合いから合気の間合いを切った直後、絶妙な機会を見事に捉えた諸手突きをみせるが、旗は一本であった。谷口は面返し胴を狙おうと間合いを詰めるが、加藤は冷静に見切り、引き面を

決めて優勝を飾った。

(文 愛知県高体連剣道専門部
総務部 長屋雄延)

女子決勝戦

岡崎城西高等学校対星城高等学校

先鋒 堀対池田

激しい打ち合いの中、岡崎城西、堀が守りに転じ、手元を下したところを逃さず星城、池田が右小手を決めた。後半堀が取り返しに行くも、池田が足を止めず、一本を切り切った。

次鋒 小山対藤多

星城、藤多は間合いをうまく測り、岡崎城西小山の出鼻を封じた。それに対し小山が果敢に攻め入るも両者決め

きれず、引き分け。

中堅 松本対伴野

岡崎城西、松本は星城、伴野が下がることを詰めて一本を狙いに行くも決めきれず、伴野は松本の足が止まったところで出した打突が面をとらえるが、惜しくも一本にならず。引き分け。

副将 柵木対加藤

両者一進一退の攻防を繰り広げるも決着はつかず、引き分け。

大将 出雲対江尾

岡崎城西の大将、出雲は勝負をかけるが、星城の江尾が長身を活かした出鼻面2本で勝負を決める。

(文 愛知県高体連剣道専門部
審判部 西川真平)



優勝 星城高等学校



優勝 桜丘高等学校



2位 岡崎城西高等学校



2位 豊川学園高等学校



3位 桜丘高等学校



3位 岡崎城西高等学校



3位 大同大大同高等学校



3位 西尾東高等学校

歴史探訪 6

名古屋市 中村公園は

秀吉と清正のふるさと

はじめに

今回の主役は豊臣秀吉です。また同郷（しかも隣家）で親戚関係にある加藤清正が終生秀吉に追従していることから、両者の生い立ちや歴史的な活躍について探索したいと思います。

情報源は、公園内の散策内容と中村公園文化プラザ内に設置された、名古屋屋秀吉清正記念館の展示品、同館入場用のパンフレットによります。

それでは本題に入りましょう。

今は名古屋市に住む人たちにとって「中村公園（愛称：秀吉清正公園）」は、秀吉公と清正公を祀った豊國（とよくに）神社として親しまれ、多くの人たちの憩いの場になっています。

中村公園創建の経緯

この公園は、明治18年（1885）地元有志と愛知県令（県知事）国貞廉平氏の尽力により創建。秀吉再評価の機運を受け、明治34年（1901）秀吉の馬印である千成瓢箪（せんなりびょうたん）にちなみ瓢箪形の池が、周囲には藤が植えられました。これが中村公園の誕生です。



公園入口から、秀吉を祀る豊國神社を望む

大正10年（1921）には中村公園一帯は名古屋市に編入されました。この記念として昭和4年（1929）には朱色の大鳥居（鉄筋コンクリート製で高さ24^m・最大直径2.5^m）が建てられました。

園内の史跡

その後太閤池、関白池、児童遊具などや、豊公（秀吉）誕生の地碑、中村公園記念館、大正天皇御手植えの松などが次々と整備されました。初代中村勘三郎生誕記念碑もあり、この中村が歌舞伎役者の先駆けの地であったことがわかります。

軽やかに踊る姿は
初代中村勘三郎の銅像

秀吉の登場

この公園一帯は、その昔、尾張国愛智郡中村と呼ばれる農村でした。天文6年（1537）1月1日、秀吉は父・木下弥右衛門と母・なか（後の大政所）の子としてこの地に生まれました。



秀吉誕生の地を示す石碑

幼名は「小竹」あるいは「日吉丸」。父が7歳の時亡くなり、母は筑阿弥と再婚。秀吉はこの義父との折り合い悪く、光明寺（あま市甚目寺町）へ小僧として出されてしまう。ここでは戦いごっこに熱中したり、乱暴が過ぎたりで、追い出されてしまいます。そして、駿河（静岡県中部）へ放浪の旅に出たといいます。

幼少時の頃から不遇な環境下、歯を食いしばって生き抜く覚悟・反骨精神が芽生えていた様に思います。

秀吉は駿河に行き、今川義元の家臣で頭陀寺城（浜松市）主・松下之綱に仕えました。しかし、仲間のねたみを買って、18歳で故郷中村に戻ってきます。

信長に仕える

その年に秀吉は織田信長に直訴して家臣となります。この時信長は21歳でした。そして草履取り（信長のほき物を用意する係り）に任じられます。ある冬の朝、信長のはき物を懐に入れて暖め、信長を喜ばせます。これをきっかけに、信長から気に入られ、出世の道を歩み始めたと言います。

懐で草履を暖めるとは！今も昔も常識では考えられないのでは？秀吉は人の心を読み、誰もやらないような事を大胆に実行するところが凄いですね。

秀吉の戦法

その1『兵糧攻め』

秀吉は天正6年（1578）から天正10年にかけて、信長の命により、中国地方の毛利氏と何度も戦っていました。この頃の戦法が『兵糧攻め』でした。何カ月も城を取り囲み、食糧を無くさせ、氣力を削ぎ相手を屈服させるやり方です。

天正10年（1582）5月、秀吉は毛利方の備中高松城（現、岡山市）を包囲。この城は山と湿気に囲まれた天然の要塞でした。この地形が災いします。秀吉はここに幅22m、全長12kmの堤防を築かせ、そこに川の水を引き入れ、城を水没させようとしました。毛

利の援軍は城に近づくことができず、その結果、城主の清水宗治は、船上で謡曲を歌い舞った後切腹。実はこの2日前に本能寺の変が起きており、秀吉は毛利軍を牽制しつつ、次に述べる、大返し戦法をとります。

その2 『大返し(おおがえし)戦法』
 天正10年(1582)6月2日に信長が討たれたことを6日に知った秀吉は、高松城を出発。大雨の中70km走破し7日姫路城に戻ります。9日姫路を発ち、11日尼崎着。光秀は秀吉が近くまで来ていることに気がついていない。13日秀吉は山崎合戦(京都府大山崎町)に臨み、光秀軍を破ります。

もう1件は、賤ヶ岳(しずがたけ)の戦いで柴田勝家に勝利したことです。秀吉、清正らは、大垣(岐阜県大垣市)から木之元(滋賀県長浜市)まで52kmの道のりを5時間で移動。騎馬・荷車は怒涛の如く走り、軍団の鎧が揺れざわめく音が聞こえる様です。

この時の速攻作戦は、途中の農民に通常の10倍の値段で握り飯を大量に作らせたこと。多くの松明(たいまつ)を作らせて行く道を照らさせ、驚異的なスピードで走破。勝家からみれば、「秀吉勢はまだ遠くにいる」と油断をしたためか戦準備する間もなく敗れてしまった。

この素早い行軍の発想たるや、秀吉の天才的な頭脳といえないか。

秀吉の政策

その1 『検地』

秀吉は、天正10年(1582)検地をスタートさせました。検地とは、田畑を測量して面積と等級(質)を明らかにし、その土地の石高(こくだか)を決めるもの。それをもとに年貢を納めさせるようにしたのです。当時単位がばらばらだったので、1尺(約30.3cm)を全国共通単位としました。この検地は、江戸幕府になっても1702年まで続けられました。

その2 『刀狩』

当時の農民は、自衛のために刀や槍を持っていたが、「それらを溶かして京都の東山に建てる大仏の釘にする」との名目で取上げます。これにより、農民は組織だった反乱(一揆)を起こすことができなくなりました。また、武士と農民との区別がここではつきりし、武士が刀を持つことになりました。

清正の登場

豊国神社には、秀吉公の隨身、加藤清正公も御祭神として祀られています。



清正像(参道揭示板)

清正の父、清忠は、美濃(岐阜)齊藤山城守道三に仕えていましたが、道三の嫡子義竜が反乱したので、母と共に

に尾張に逃れこの中村に住みました。清忠は村の鍛冶屋清兵衛について鍛冶職を習うことになりました。この清兵衛の娘に「伊都女」というのがいて、清忠と結ばれます。清正は、この清忠を父に、伊都女を母として、永禄5年



清正公誕生の地、妙行寺内の御堂には高麗遥師作による清正公御尊像あり

(1562)6月24日誕生しました。秀吉との年齢差は25歳。母「伊都」は秀吉の母「なか」と従姉妹と言われています。誕生した家は、秀吉の隣家とも。9歳の折り秀吉の膝下に入ります。天正3年(1575)14歳の時、長篠の戦いで初陣を飾り、その翌年元服。夜叉若から虎之助清正を名のります。以降、秀吉公に従いながら、武功を上げ、彼は終生、秀吉への厚い忠誠心を持ち続けました。

清正の活躍

その1 『賤ヶ岳の7本槍』

柴田勝家との戦いで、勇将の地位を

不動のものにしたといえます。

その2 『朝鮮出兵』

これは負け戦だった様です。

天正20年(1592)秀吉は、明を征服するため、朝鮮に2度出兵します。

文禄の役(1592~1593)と慶長の役(1597~1598)がそれですが、この戦いに清正も出陣。清正の虎狩は有名な話となつて語り継がれています。本館には、清正がしとめた虎のあご骨が展示されています。

その3 『城造りの名人』

築城技術に長けた武将と言えます。天正16年(1588)清正26歳の時、熊本城主となります。清正の造った熊本城は、天下の名城と謳われています。(2016年熊本地震で発生した同域石垣等の損傷部分は現在修復中)

また、慶長15年(1610)家康の命により、清正は名古屋城築城にあたり石垣工事を単独でなしています。

おわりに

以上、豊臣秀吉・加藤清正の取材を通じて先人の偉大さ、戦の惨めさ等歴史の事実を展示品等から学ぶことができました。

当尾張からは、三傑(信長、秀吉、家康)、清正、柴田勝家の他に、前田利家、福島正則、丹羽永秀、池田輝政、蜂須賀小六正勝、山内一豊らから星の如く輩出しています。引き続き歴史探訪により新たな発見を試みたいと思います。

(文・写真 大崎)

地区だより

【尾張剣道連盟】

第三十九回尾張中学校

新人戦剣道大会

事務局長 安田 徹夫

コロナ禍の折、予定していた事業の中止が続く中、昨年十二月五日、第三十九回尾張中学校新人戦剣道大会を一宮市総合体育館で実施することができました。

実施にあたっては、愛知県剣道連盟のガイドラインに沿って、確認票の提出、検温、手指および足裏消毒、無観客試合など、でき得る限りの対策を講じました。

一堂に会してのチャンピオンシップ形式ではなく男子六十校、女子五十三校を五つのグループに分け、それぞれでリーグ戦およびトーナメント戦を行う形をとりました。前のグループが終了してから、次のグループ

プの試合を開始することにより、会場が密になるのを避けることができました。

例年見慣れた風景とは大きく違ったものになりましたが、剣道ができる喜びを胸に、熱気あふれる試合が各試合場で展開されました。

各グループ二位校は次の通りです。

〈男子〉

A 一宮市立木曾川中学校



【名古屋市剣道連盟】

第五十二回愛知県

春季少年剣道大会

事務局長 久保 多加史

とき 令和三年三月十四日
ところ 千種スポーツセンター

愛知県内の、各地区予選を勝ち抜いた小学生三十二チーム・中学生

B 東郷町立春木中学校
C 一宮市立葉栗中学校
D 滝中学校

E 一宮市立千秋中学校

〈女子〉

A あま市立甚目寺南中学校

B 扶桑町立扶桑北中学校

C 弥富市立弥富中学校

D 大治町立大治中学校

E 江南市立布袋中学校





男子十六チーム、女子16チームが、(二財)愛知県剣道連盟のコロナ禍におけるガイドラインを遵守して、熱戦を繰り広げた。入賞された学校、団体の皆様おめでとうございます。



【西三河剣道連盟】

コロナと剣道の対峙

事務局長 手嶋 道雄

審査会も大会も開催苦悩となる新型コロナウイルス感染症に接しては事業開催に向けて自分の感染を防ぐだけでなく、人にも感染させないという責任も求められる社会的な責任も果たすべきだと考えます。

正確で真に必要な情報がどれなのかを見極めることがとても大切なこ

とだと実感しました。

愛知県剣道連盟から配信される対応策の情報を徹底し遵守することにより多くの時間を費やし可能な事業を大過なく開催することができました。

級・初三段審査会の開催

秋季より可能となった審査会開催に西三河各地区剣連では三密回避の為様々な対策を考え受審者、主催者双方の安全、安心を確保しての開催でした。

大きな改善対策は ①受

審者の時間指定分散集合

②受審番号の事前通知 ③

申し込み時に合格登録料の

預り金扱い(不合格者、発

表後会場にて返金)

この対策は大きなメリッ

トとなり今後の開催にも応

用したい。

少年剣道大会の

延期開催

当連盟年間事業計画の最多の参加者によるこの大会も幾度も感染予防対策を思考し、準備万端当日を迎えるところ直前で緊急事態宣



手足の消毒

言発令により中止? 延期? 推薦? 過去実績考慮? 等々県大会への参加に向けて議論を重ね延期の結論に至ったが、会場確保と云う最大の壁があり1日の開催では不可能となり西三河各市剣連に会場確保の協力を求めた結果、小学生大会と中学生大会に分けて両日とも午前と午

後の部と分別開催とし手間は費やしたが、プラスに考えればコロナウイルス感染のリスクは大きく低



減できる。

一日目は祝日とあって審判員の招聘に苦労したが協力を得て事故なくスムーズな大会運営が出来た、こうして二日間の大会も平穩のうちに終了し、県大会への進出チームを決定することが出来ました。

参加チーム選手も非常に協力的であつたことも感謝しております。

終息までいまの気持ちを忘れてはならない、皆で一緒にこの困難な事態を乗り越えていきたいと思います。

【東三河剣道連盟】

コロナ禍の東三河

春季少年剣道大会

事務局長 牧野 孝夫

当連盟の大会の一つである東三河春季少年剣道大会を、令和三年二月十四日豊川市武道館にて参加チーム代表の部24チーム、女子の部13チームによって開催しました。本大会は三月の愛知県春季少年剣道大会の出場権をかけたものであると同時に、多くの少年剣士にとっては、小学生として最後の試合となります。それ



故コロナ禍ではありますが、愛剣連大会実施要領を基に、とにかく感染拡大の防止を意識して慎重に実施をしていきました。(当連盟として初めての大会運営となりました) 以下が、今までの主な変更点です。・完全トーナメント戦(従来は予選リーグ・決勝トーナメント)・無観客試合・4試合場での実施(従来は6試合場)・試合場及び控室における選手の待機場所と、移動時の導線を指定する選手らの施設中での動きをシュミレーションしとにかく密な状態を生み出さないようにしました。審判においては、全剣連によって新しく定められた「新型コロナウイルスが終息するまでの暫定的な試合・審判法」によって実施いたしました。そして、剣道教室の皆さん、大会役員・審判の先生方、会場となった豊川市剣道連盟諸氏の協力もあり一体感をもって、無事に大会を終えたことに感謝いたします。まだまだ先が見えにくい状況ではありますが、今後も感染拡大防止を強く意識し、活動を進めていきたいと思っています。

大会結果

代表の部

優勝 豊橋南部少年剣道教室

準優勝 御油剣道教室

三位 二川剣友会・蒲郡剣道ス

ポーツ少年団

女子の部

優勝 牛久保剣道教室

準優勝 国府剣道教室

三位 津具剣道教室・御津剣道

教室

【尾南地区剣道連盟】

審判伝達講習会

事務局長 山田 政晴

令和3年2月20日(土) 武豊町総合体育館第二競技場において、コロナ禍における審判法伝達講習会に70名の指導者が参加し開催いたしました。

この講習会は、「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法」伝達するものです。

地元講師として、木下仁先生・関屋猛久先生・丹羽正則先生・原田努

先生をお迎えし、午後1時30分～午後3時まで、新型コロナウイルス感染症の安全対策を徹底して実施いたしました。

対象者として、6市5町、中学校、高等学校の剣道指導者及び公認審判に登録されている指導者、また、第

52回県春季少年剣道大会に参加するチームの監督等幅広く参加を呼びかけました。

講習内容は、県伝達事項を重点的に実施し、審判員の入場、合議時の位置取り、特に試合者が相互に分かれようとしている途中の打突については、色々な状況が生じる中での「合議」「反則」については、詳しく説明が実技をもつてありました。質疑応答では、多くの参加者からあり、分かれ際での

判断の難しさが際立ちました。多くの参加者にとっては、個々の審判法の技術向上につながる講習会となりました。

本連盟では、この指導者講習会を継続して、より良い指導者育成を図りたいと考えています。



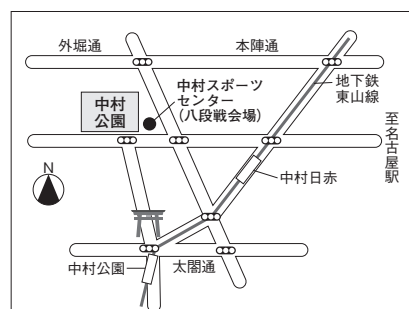
講習会の模様

歴史探訪 (P14～P15) より 中村公園へのアクセス



・地下鉄中村公園下車
豊國神社 大鳥居
昭和5年元旦に竣工

(鉄筋コンクリート製)
全高 24.5m
×
柱直径 2.5m
当時日本最大



役

員

(令和三年・四年度現在)

副会長

相談役

参与

市牧瀧東松水細伊木林近内後北菅和松鈴勝山白渡安松山大
 川野 下谷川藤本 藤田藤村沼田本木股本井並部本本嶽
 武武順日出明好 一三邦勁武英 幸伊 健寿重孝 秀健允將
 利賢一男房助昌彦夫夫助夫壽豊夫功武一彦夫一直利郎関文

大河内 平川 中川 堀山 竹味 穂園 東吉 稲賀 古賀 松本 三澤 松岡 田中 田中 日比野 塩野 都地 安保 木下 杉浦 熊澤 高山 渡邊 光永 山口
 鉄 治 介 健 由 元 由 萬 利 芳 良 源 輝 隆 雅 洋 潤 昌
 彦 稔 彦 二 治 登 孝 子 悟 美 幸 郎 高 五 志 夫 厚 学 正 仁 人 二 一 香 勉 宏

理事長
常任理事

理事

監事

新今神成下前水田山中牧疋今長手山中野原山東加小内平畠大丹尾東祝
 美道谷瀬山田野中口村野田泉澤嶋口村末田崎 藤山田井山田羽野
 邦恵光朋博新 勝照隆孝哲 賢道和憲敏 良 宗信道隆義正博一要
 廣子顕恵之吾隆明義信夫之弘治雄義治郎努尚美隆章之典吉弘則之良司

評議員



志津 山田 大仲 和田 中吉 稲井 白坂 藤山 堀本 榎並 渡谷 深山 水田 戸田 加藤 久保 水野 松本 山本 小島 白石 二橋 熊本
 匡英 良布 輝 孝彰 健鐘 正政 治秀 多加 友利 允克 裕 千
 人貴 仁子 志 悟 一 一 治 司 直 司 晴 涉 夫 夫 史 記 幸 関 巳 章 隆 尋



剣道六段 (二年四月二十九日)

(京都)

【十月十四日 (兵庫県) 於実施】

安田 唱吾(43)

剣道教士 (二年五月六日)

(京都)

高柳 真(42)

桑原 明洋(51)

本多 正治(54)

村田 義之(58)

林 幹人(61)

鶴蘭 勝美(75)

剣道錬士 (二年五月六日)

(京都)

今井 新流(31)

近藤 量仁(34)

入江 修司(37)

曾我 齊(41)

下市 孝昭(45)

吉野 仁美(48)

和田布美子(51)

東村 篤樹(54)

山田 幸正(56)

篠瀬 貞幸(71)

剣道七段 (二年五月十六日)

(枇杷島)

【十月十五日 (兵庫県) 於実施】

田中 巧(49)

山元 剛(53)

剣道六段 (二年五月十七日)

(枇杷島)

【十月十四日 (兵庫県) 於実施】

長江 通生(55) 兼岩 清史(56)

剣道七段 (二年八月二十九日)

(福岡)

大仲 良仁(54)

剣道六段 (二年八月三十日)

(福岡)

瀧貞 寧儀(51)

居合道七段 (二年八月三十日)

(京都)

山崎 弘(54)

居合道六段 (二年八月三十日)

(京都)

西山 幸子(53)

居合道五段 (二年九月二十七日)

(中)

村松 英里(40)

形屋 徳美(51)

伊良原 弘(60)

加藤 敏弘(65)

川田 稔(73)

居合道六段 (二年十一月八日)

(東京)

阿部 圭二(57)

剣道七段 (二年十一月十四日)

(枇杷島)

吉原辰之進(38)

林下 英司(40)

塩田 宗則(49)

長友 豊蔵(52)

大谷 宜生(57)

松井 満男(75)

剣道六段 (二年十一月十五日)

(枇杷島)

佐々木富弥(29)

大島健太郎(29)

渡辺 聖(30)

柴田 雄太(31)

村瀬 直樹(32)

宇津木 悟(38)

佐藤 志帆(38)

中村 将彦(39)

馬場 文隆(43)

松永 直樹(44)

安藤 彰人(47)

中根 徳子(52)

山梨 浩樹(53)

岩田 秀樹(57)

市田 恭教(63)

山田 伸佳(65)

剣道教士 (二年十一月二十四日)

(東京)

長屋 雄延(42)

酒井 良昌(45)

高橋 博美(46)

坂 誠康(49)

高橋 博之(49)

佐藤 祐広(39)

安田 哲生(49)

田添 竜男(51)

今村 正博(55)

眞野 隆雄(66)

今泉 一紀(29)

山崎 一篤(29)

山守 祐哉(30)

新美 敬介(32)

笹内 一志(35)

藤田 洋平(38)

三枝 功司(38)

天野賢太郎(42)

唐木 研至(44)

日永田弥生(45)

水流 勇人(49)

山本 政広(52)

山本 浩行(57)

甲斐 道夫(62)

山本 典幸(65)

大川光都子(66)

今道 基弘(44)

井 真美子(45)

地福真紀子(47)

山崎 嘉一(49)

日比野博華(50)

大脇 崇浩(52)

夏目 守雄(52)

丸山 和高(54)

渡辺 茂樹(55)

竹内 正二(56)

内藤 基善(59)

室園 薫(63)

須藤 明美(66)

沼田 一男(70)

居合道教士 (二年十一月二十四日)

(東京)

甲斐 幹涉(39)

近藤 大(37)

小田部 将(38)

三浦 英将(39)

武石 臣蔵(44)

若杉 篤史(47)

伊藤 力(48)

小野寺宗善(49)

長岡 敬昭(50)

中坪 保明(51)

兼川 洋一(53)

宮脇 哲也(57)

黒岩 孝彦(59)

早川 宏也(59)

内川 文雄(62)

後藤 裕(62)

村上 由竹(71)

高津 慎次(52)

和田美佐緒(53)

六郷 恭二(55)

川村 浩(55)

則竹 浩子(59)

日比野隆夫(61)

堀江 誠(64)

塚下 和夫(66)

水口 幸夫(73)

山守 元彦(67)

藤井 大輔(38)

佐藤 祐広(39)

横田 広行(42)

藤多 有香(47)

加藤 享(48)

今泉 千絵(49)

野中 貴之(49)

伏見 訓和(51)

和田 宜宏(53)

高信 善人(56)

河野 浩也(57)

岡 宏(59)

酒井 杉也(60)

浅野 史朗(62)

別府 佳東(67)

田中 良子(71)

居合道錬士（二年十一月二十四日）

（東京）

田中美枝子(64) 池田 稔弘(65)
剣道五段（二年十一月二十八日）

（愛知県武道館）

剣道五段（三年二月十四日）

（愛知県武道館）

西本 光佑(25) 安井 湜稀(25)

園井 悠人(27) 萩尾 勇介(27)

宮地 広樹(29) 佐藤 真希(29)

柴山 萌(34) 内木場尚也(31)

橋本 信也(37) 山田 哲也(38)

村瀬 寛紀(44) 山本 一誠(46)

鈴木知世子(46) 森 亜希子(47)

中野 明(48) 蛭田浩之介(51)

石田 理永(51) 田中 寧(53)

若杉 英彦(53) 多々 邦弘(56)

佐藤 健太(56) 杉崎 晃久(56)

松井美津子(57) 山内 達詞(58)

佐藤有理枝(60) 柴田 邦江(60)

志津 照子(67) 山本 裕(70)

剣道七段（三年二月二十日）

（長野）

竹原 聡(47) 小出 士朗(48)

安達 博之(50) 鈴木 昭人(51)

剣道六段（三年二月二十一日）

（長野）

神谷 友和(37) 杉本健太郎(42)

梅村 剣吾(47) 狩峰 直嗣(48)

後藤 知宏(55) 森本 渉(65)

國井 鉄也(65)

杖道五段（三年二月二十八日）

（中）

中西 勝則(59) 村瀬 里江(68)

西川 貴都(24) 高橋 龍平(26)
田中 大夢(29) 旦木 香織(49)
城 貞晴(51) 白鳥智加子(52)
松井美津子(57) 渡邊 泰三(67)

居合道五段（三年一月十一日）

（岩倉）

剣 道・居合道・杖 道

令和元年10月1日改定

段・級	審査料(円)	登録料(円)
8 ～ 2 級	1, 1 0 0	2, 2 0 0
1 級	1, 1 0 0	3, 3 0 0
初 段	2, 2 0 0	5, 5 0 0
二 段	3, 3 0 0	7, 7 0 0
三 段	4, 4 0 0	9, 9 0 0
四 段	5, 5 0 0	1 2, 1 0 0
五 段	6, 6 0 0	1 8, 7 0 0
六 段	1 3, 2 0 0	4 4, 0 0 0
七 段	1 5, 4 0 0	6 6, 0 0 0
八 段	1 9, 8 0 0	9 9, 0 0 0
称 号		
錬 士	1 9, 8 0 0	5 5, 0 0 0
教 士	2 7, 5 0 0	7 7, 0 0 0
範 士		1 0 5, 0 0 0

※審査日前日までに、七〇歳になった方は登録料半額。
※四級以上の受審に際し、入会金（終身）五、〇〇〇円を納入して
愛知県剣道連盟に加入しなければならない。

コロナ禍の剣道七段合格秘話



日本製鉄名古屋
剣道部監督
安田 哲生

コロナ禍で掴んだ「七段」審査

七段合格までの経験記を書く機会を頂きましたので、審査会までの取組みを中心に、反省と自分なりの考えをまとめてみました。

七段受審は二〇一八年秋から挑戦、今回で四回目でした。想像を絶するコロナ禍で、練習の機会もかなり制限されたことを考えると、これまでと同じ繰返しでは合格から遠退くことが容易に想像でき、練習方法の見直しが必要だと感じていました。またこれまでの審査でも自分では良かったと感じた際にも及第点に至っていなかったため、どのレベルで合格できるのか、迷いが生じていたので冷静に見直すことにしました。

これまでの本審査において、二人目は疲労困憊であり、苦しまぎれで攻めもなく体幹がブレた打ちが多かったことや、有効打突を打ちたいがために、いつもと違う剣道・無理をした剣道をしていったためか余計な力が入り消耗して

いたのだと思います。

そこで、相手との練習が限られる中、一人稽古の充実化が重要だと考え、走り込みによる体幹の強化、また自身の稽古ビデオを見て出来ていない部分を確認することにより、少ない対人稽古で修正することに努めました。

この稽古においては、一回の練習にこれまで以上に集中力を高め、当日の練習では、相手を決め、その時に「何を試す」との目的意識を持ち、試行錯誤の連続でした。具体的には、相互の攻め合いで、多少近間になっても慌てて打たない・我慢して中心を攻め如何に相手を崩すか、打たせるか、について検討と実践を繰り返し実施しました。そして相手を崩してから捨てる身で打つ、『打突の機会』の習得に注力しました。また、相手からの自分の剣道の見え方についても聞き、中心への攻めが弱いと聞き、中心への攻めが弱いため、相手に脅威を感じさせず、攻めやすかったことなど、一人稽古の時では気付かなかったアドバイスを頂き、それらの点を次の練習時の課題としました。

その結果、コロナ禍以前の稽古量に對し五割以下でしたが、工夫により練習密度を上げこれまで気付かなかった部分にも気付くことができ、成長している事を実感出来ました。

今後とも様々な稽古法に取り込み、精進して参りたいと思います。



みよし市民病院
副院長
大仲 良仁

私のコロナ禍での七段審査記

私は令和二年春の審査会で七段に挑戦する計画をたて、遡る事一年半前から「毎日、竹刀を握る」ことを自分に課しました。十本でも百本でも素振り続け、酔っぱらったときは柄を握るだけでも、の気持ちで継続していました。しかし世の中は新型コロナウイルス感染症の猛威に見舞われ、それまでの日常生活が一変してしまいました。

剣道界でも対人稽古の自粛、イベントの中止が相次ぎ、春の審査会も延期が決定されました。そこでもう一度、自身に課題を加えました。足捌き、摺り足での素振り、空間打突での打ち込み稽古を連日行うということでした。有難いことに私の職場の一部の廊下は天井が高いため職員が帰宅した後、密かに裸足になって夜な夜な一人稽古に励むことが出来ました。また、ある部署には大きな鏡が設置してあるので、立ち姿の確認や、素振りでの竹刀の軌道をチェックしたり、剣道形を行ったりと身体が剣道を忘れないように努力をしました。もちろん、筋力、体力が衰

えないように筋力トレーニングや走り込みも欠かさず続け、審査に対するモチベーションを維持することに努めていました。

代替審査が十月に姫路で開催されると発表されましたが、仕事の関係で八月二十九日の福岡での審査会に挑むことを決意しました。

福岡市民体育館での審査はコロナ禍での初の全国審査会で厳戒態勢の中で行われました。が、逆に受審者以外の人には会場内には居なくて、静寂の中でゆっくりとした気持ちで臨むことが出来ました。立ち合いが終わりアリーナ席に戻って面を置き、手拭いを畳みながら出た言葉は「はー、出し切った!」でした。帰りの福岡空港でフライト時間を待ちながら、剣友Uさんとの約束の「七段いっばつ合格!」を祝って飲んだノンアルコールビール(名古屋空港から運転があったので)の味は忘れられません。

精神論者では有りませんが、七段審査に向けて自己に課した課題に取り組み、継続できたことがコロナ禍の稽古不足を補い、自信を持って審査に臨めたのだと思います。もちろん私一人の力だけで成せたものではありません。ご指導を頂いた先生方、剣友の皆様、協力してくれた職場の仲間、そして好き勝手を許してくれている家族に謝辞を述べて記を終わらせて頂きます。ありがとうございました!

愛知県剣道連盟ホームページ案内



剣 AICHI

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ
・4月9日更新

【業務時間短縮のお知らせ】
新型コロナウイルス感染拡大の観点から、当面の間
事務所の業務時間を下記の通り短縮いたします。
業務時間 10:00 ~ 16:00
会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご了承の
程お願い申し上げます。

リンク

審査結果

大会結果

各種要項

事務局連絡

事業計画

連盟紹介

NEW
【事業計画】に新年度事業計画表を掲載いたしました。

一般財団法人
愛知県剣道連盟

<http://www.aichi-kendo.jp/>

現在、各大会及び審査会の要項は、約二ヶ月前には当連盟ホームページに掲載しております。

また大会申込書以外にも、審査会申込書、加盟（入会）手続書がダウンロード出来るようになりましたので、必要な方は各種要項のページにあります剣道、居合道、杖道のタブよりご確認ください。

大会結果、審査結果等は出来るだけ速い段階で掲載するよう務めておりますが、多少のお時間を要する場合もございますので何卒ご了承ください。

なお、全日本剣道連盟主催の大会結果や、審査会（六、七、八段、称号審査会）の合格者につきましては、全剣連ホームページに掲載後、当連盟ホームページに掲載いたします。

全剣連のホームページは当連盟のリンクページ、関連団体タブよりご確認ください。

また岐阜剣連、三重剣連、静岡剣連ホームページへのリンクもしております。

当連盟ホームページへのアクセスは『愛知県剣道連盟』で検索していただくか、上記アドレスを直接入力して下さい。

五地区剣道連盟所在地

尾張剣道連盟 〒491-0903 一宮市八幡 4-1-28 一宮市武道館内	理事長 中 川 治 彦	事務局長 安 田 徹 夫 TEL 0586-43-1023 FAX 同じ
名古屋市剣道連盟 〒454-0022 名古屋市中川区露橋 1-31-20 富士見ビル 2-G	理事長 尾 野 博 之	事務局長 久 保 多加史 TEL 052-361-8073 FAX 同じ
西三河剣道連盟 〒471-0813 豊田市野見山町 3-78-14 手嶋様方	理事長 大 田 義 弘	事務局長 手 嶋 道 雄 TEL 0565-89-3274 FAX 同じ
東三河剣道連盟 〒440-0071 豊橋市北島町字北島 132-2 牧野様方	理事長 畠 山 隆 吉	事務局長 牧 野 孝 夫 TEL 0532-52-3796 FAX 0532-52-3770
尾南地区剣道連盟 〒479-0862 常滑市小倉町 5-48 山田様方	理事長 丹 羽 正 則	事務局長 山 田 政 晴 TEL 0569-42-3895 FAX 同じ

中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

◇本社（名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1）
FAX 052(201)4331
問い合わせは 電話 052(221)0793

◇豊橋支局（豊橋市八町通3ノ91）
FAX 0532(54)4655

◇岡崎支局（岡崎市東明大寺町16ノ18）
FAX 0564(25)1554

◇豊田支局（豊田市美山町3ノ34ノ34）
FAX 0565(25)1118

◇一宮支局（一宮市大江1ノ13ノ13）
FAX 0586(72)5035

◇半田支局（半田市出口町1ノ45ノ18）
FAX 0569(23)2372

◇春日井支局（春日井市鳥居松町3ノ60）
FAX 0568(81)2797

読売新聞社

FAX 052(211)1085

取材に来てくれることもありますので、
先ず一報を

訃報

牧野 登先生（享年九十八歳）

令和二年八月十六日ご逝去

剣道範士七段 県剣連盟相談役

丸山 清司先生（享年八十歳）

令和二年八月十八日ご逝去

剣道教士七段 県剣連盟参与

富田 孝夫先生（享年八十歳）

令和三年五月二十六日ご逝去

剣道教士七段 県剣連盟相談役

編集後記

広報委員長として第四十四号、四十五号と編集に携わり、広報委員の皆様や会員の皆様のご尽力をいただきまして無事任期を終える事が出来ました。心より御礼申し上げます。今後、愛知県剣道連盟の益々のご発展を祈念いたします。

（内田信之）

昨年の三年生はコロナ過で大会もなく卒業していった。

その卒業生が総体予選前に後輩の指導に来てくれた。試合ができなかった悔しさを後輩に託したのだらう。今後は社会人となった彼と竹刀を合わせ剣道を楽しみたい。

（今泉 弘）

歴史取材を通して、大切な事は現場での聞きです。今探索の、日吉丸（藤吉郎・秀吉）や夜叉若（清正）が生まれ育った中村の里（現、中村公園）を訪ねると、腕白な二人の声が聞こえる様です。歴史の真実を学ぶお勧めスポットは公園内の「秀吉清正記念館」ですね。

（大崎 保）

現在、子供の指導に携わっています。

剣道には、有効打突の条件があり、打突した時にその条件を満たさないと1本になりません。1本にするため頭を

使い「考える力」が必要だと思います。

今後も「考える力」を持つよう指導したいと思います。

（中村憲治）

編集集中、鏢迫り合か鏢競り合かの表記の事が話題になった。全剣連は後者に表記統一しているが、辞書的には前者だ。高野佐三郎『剣道』（大正4年刊）に鏢競合とあるのを確認し、大河ドラマの洪沢栄一に思いが至った。

（榎本鐘司）

昨年より大会の延期、中止が相次ぎ、高校生達も気持ちを挫かれました。

しかし、コロナの波の合間をぬい、高校剣道界に携わる皆様のお力で、大会が開かれ、高校生達の目標に一步步近づき、事ができました。観の眼の発行ができ、安堵しております。

（青山光加）

一般財団法人 愛知県剣道連盟

令和3年度事業計画

4月				5月				6月				7月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時間		全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時間		全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時間		全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時間	
1 木				1 土	京都市 知多市市体育館 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		1 火				1 木			
2 金				2 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		2 水	日本ガイシ第3	10:00		2 金	新堀県		
3 土	神戸市 日本ガイシ第2	9:30		3 月	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		3 木				3 土	新堀県 稲永	15:00	
4 日	天白 △尾張八段審査会 △尾張八段審査会 △尾張八段審査会	9:00		4 火	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		4 金	日本ガイシ第3	15:00		4 日	三河地区対抗戦 △尾張八段審査会(初～三段)		
5 月				5 水	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		5 土	日本ガイシ第3	15:00		5 月	△尾張八段審査会(初～三段)		
6 火				6 木	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		6 日	知立南武道館	9:00		6 火	△尾張八段審査会(初～三段)		
7 水				7 土	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		7 月	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		7 水	△尾張八段審査会(初～三段)		
8 木				8 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		8 火	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		8 木	△尾張八段審査会(初～三段)		
9 金				9 月	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		9 土	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		9 金	△尾張八段審査会(初～三段)		
10 土	日本ガイシ第3 △尾張八段審査会 △尾張八段審査会 △尾張八段審査会	9:30		10 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		10 土	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		10 土	△尾張八段審査会(初～三段)		
11 日	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		11 月	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		11 日	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		11 日	△尾張八段審査会(初～三段)		
12 月				12 火	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		12 月	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		12 月	△尾張八段審査会(初～三段)		
13 火				13 土	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		13 日	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		13 火	△尾張八段審査会(初～三段)		
14 水				14 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		14 水	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		14 水	△尾張八段審査会(初～三段)		
15 木				15 月	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		15 木	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		15 木	△尾張八段審査会(初～三段)		
16 金				16 土	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		16 金	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		16 金	△尾張八段審査会(初～三段)		
17 土				17 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		17 土	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		17 土	△尾張八段審査会(初～三段)		
18 日				18 月	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		18 日	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		18 日	△尾張八段審査会(初～三段)		
19 月				19 火	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		19 月	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		19 月	△尾張八段審査会(初～三段)		
20 火				20 土	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		20 火	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		20 火	△尾張八段審査会(初～三段)		
21 水				21 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		21 水	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		21 水	△尾張八段審査会(初～三段)		
22 木				22 月	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		22 木	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		22 木	△尾張八段審査会(初～三段)		
23 金				23 土	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		23 金	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		23 金	△尾張八段審査会(初～三段)		
24 土				24 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		24 土	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		24 土	△尾張八段審査会(初～三段)		
25 日				25 月	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		25 日	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		25 日	△尾張八段審査会(初～三段)		
26 月				26 火	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		26 月	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		26 月	△尾張八段審査会(初～三段)		
27 火				27 土	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		27 火	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		27 火	△尾張八段審査会(初～三段)		
28 水				28 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		28 水	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		28 水	△尾張八段審査会(初～三段)		
29 木				29 月	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		29 木	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		29 木	△尾張八段審査会(初～三段)		
30 金				30 土	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		30 金	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		30 金	△尾張八段審査会(初～三段)		
31 土				31 日	京都市 △剣道八段審査会 ※第75回県高校総体支部予選会(個人) 西三河地区対抗戦	9:00		31 土	△尾張八段審査会(初～三段)	9:00		31 土	△尾張八段審査会(初～三段)		

備考 ●全剣連 ○全剣連開与 ▲県連 △県連開与 ※その他 *日程、会場の変更もありますので、必ず開催要項を確認下さい。

各市区自主練習開催日
名古屋…毎月第2月曜日・第4月曜日(19:00) 露橋 尾南…毎月第1次曜日(19:00) 東海市体育館
西三河…毎月第1日曜日(19:00) 東三河…毎月印刷第4土曜日(14:00) 豊橋市武道館 ※5、8、12、1月を除く

令和3年度事業計画

一般財団法人 愛知県剣道連盟

27

「親の眼」 第45号

8月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時 間	
1日 △西三河剣道形審査会(初～三段) 北部	刈谷市体育館	9:00	
2月			
3火			
4木			
5木	岩手県花巻市		
6金	※第63回愛知東海中学校総合体育大会(剣道)(6・7日) 豊田市総合体育館		
7土	●剣道七段審査会 福岡市	15:00	
△東海地区剣道合同稽古会 露橋			
△尾南剣道実技講習・審査会(初～三段) 東海市居体育館			
※全三河高等学校剣道大会 豊川市総合体育館		9:30	
8日			
●剣道六段審査会 福岡市		9:30	
●剣道称号選考会 日本ガイシ第3		9:30	
△尾南剣道実技講習・審査会(初～三段) 東海市居体育館			
△東三河剣道実技講習・審査会(初～三段) 豊川市総合体育館		9:00	
9月			
○第68回全国高等学校剣道大会(9～12日) 金沢市		9:00	
△西三河剣道実技講習・審査会(初～三段) スカイホール豊田			
10火			
11水			
12木			
13金			
14土	△名古屋剣道形講習・審査会(初～三段) 露橋	9:00	
15日	△居合道高段位受審者講習会 中村	10:00	
16月			
17火			
18水			
19木			
20金	●杖道六・七段審査会 北海道		
○第51回全国中学校剣道大会(20～22日) 川崎市			
21土	●剣道七段審査会 新潟市		
●杖道地区講習会(21・22日) 北海道			
22日	●剣道六段審査会 新潟市		
○国体東海ブロック大会 静岡県			
23月			
24火			
25水			
26木			
27金			
28土	△居合道・杖道合同稽古会 露橋剣道場	13:00	
29日	△第73回愛知県青年大会 愛知県武道館	9:30	
△名古屋剣道実技審査会(初～三段) 露橋		9:00	
30月			
31火			

9月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時 間	
1水			
2金			
3金	△愛知県女子剣道稽古会 パーフェクト小牧	10:00	
4土	△東海地区剣道合同稽古会 日本ガイシ第3	15:00	
5日	●第67回全日本東西対抗剣道大会 大分県		
6月	▲剣道合同稽古会 枇杷島	19:00	
7火			
8水			
9木			
10金			
11土			
12日	▲居合道高段位受審者講習会 中	10:00	
13月			
14火			
15水			
16木			
17金			
18土	※愛知県私立学校剣道大会 日本ガイシ第2		
19日	●第60回全日本女子剣道選手権大会 奈良県		
▲第44回愛知県居合道段位別選手権大会 昭和		9:30	
△名古屋剣道形講習・審査会(初～三段) 露橋		9:00	
20月	▲居合道講習及び審査会(級～五段) 昭和	10:00	
21火			
22水			
23木	▲第54回愛知県剣道段位別選手権大会 露橋	9:30	
※第69回東海学生剣道優勝大会 スカイホール豊田			
24金			
25土	○第63回全日本実業団剣道大会 新潟県総合体育館	13:00	
▲居合道・杖道合同稽古会 露橋剣道場		9:00	
△尾南剣道形講習・審査会(初～三段) 岐阜県総合体育館			
※第44回東海女子学生剣道優勝大会 枇杷島			
26日	○第16回全日本都道府県別少年剣道優勝大会 大阪市		
27月			
28火			
29水			
30木			

10月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時 間	
1金	△愛知県女子剣道稽古会 瀬市総合センター	10:00	
2土	○第76回国民体育大会剣道大会(2日～4日) 三重県伊賀市	15:00	
▲東海地区剣道合同稽古会 昭和		15:00	
△尾南剣道形講習・審査会(初～三段) パーフェクト小牧		9:00	
3日	△名古屋剣道実技審査会(初～三段) 露橋	9:00	
4月	▲剣道合同稽古会 枇杷島	19:00	
5火			
6水	▲女子部剣道講習会(剣道形) 日本ガイシ第2	10:00	
7木			
8金			
9土	●第59回全日本居合道大会 東京都	9:30	
▲剣道四・五段受審者講習会 天白			
10日	▲剣道六段受審者講習会 愛知県武道館	9:30	
※第38回中部実業団剣道段位別選手権大会 パーフェクト小牧		9:45	
11月			
12火			
13水			
14木			
15金			
16土	△尾南剣道実技審査会(初～三段) パーフェクト小牧	9:00	
17日	●第48回全日本杖道大会 中村		
18月	▲剣道合同稽古会 枇杷島	19:00	
19火			
20水			
21木			
22金	▲剣道八段受審者講習会 露橋剣道場	9:30	
23土	▲居合道高段位受審者講習会 刈谷市体育館	10:00	
※県高専新人体育大会支部分予選会(個人) 知多・半田市			
※県高専新人体育大会支部分予選会(個人) 三・西沢体育館		9:00	
24日	○第69回全日本学生剣道優勝大会 大阪府立体育館		
▲剣道七段受審者講習会 愛知県武道館		9:30	
25月			
26火			
27水			
28木			
29金			
30土	○第3回全国剣道実業団大会(30～1日) 岐阜県関市	13:00	
▲居合道・杖道合同稽古会 露橋剣道場			
※県高専新人体育大会支部分予選会(団体) 知多・半田市			
※県高専新人体育大会支部分予選会(団体) 三・西沢体育館		9:00	
※県高専新人体育大会支部分予選会(個人) 三・西沢体育館		13:30	
31日	▲剣道指導者講習会 愛知県武道館	9:30	
※県高専新人体育大会支部分予選会(個人) 露橋剣道場		9:00	
※県高専新人体育大会支部分予選会(団体) 三・西沢体育館		10:00	

11月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時 間	
1月	▲剣道合同稽古会 枇杷島	19:00	
2火	△愛知県女子剣道稽古会 日本ガイシ第3	10:00	
3水	●第69回全日本剣道選手権大会 日本武道館	9:00	
▲東三河剣道形講習・審査会(初～三段) 下五井地区体育館			
※県高専新人体育大会支部分予選会(個人) 露橋			
4木			
5金			
6土	▲東海地区剣道合同稽古会 日本ガイシ第3	15:00	
※県高専新人体育大会支部分予選会(団体) 露橋剣道場		9:00	
※県高専新人体育大会支部分予選会(団体) 露橋			
7日	●居合道六・七段審査会 東京都立戸区		
8月			
9火			
10水			
11木			
12金			
13土	●剣道七段審査会 枇杷島		
○第70回全国青年剣道大会(13・14日) 東京都			
△尾南剣道形講習・審査会(初～三段) 豊田市総合体育館			
14日	●剣道六段審査会 枇杷島		
△尾南剣道実技審査会(初～三段) 豊田市総合体育館			
○第40回全日本女子学生剣道優勝大会 露橋		19:00	
15月	▲剣道合同稽古会 枇杷島		
16火			
17水			
18木			
19金			
20土	●剣道六段審査会 東京都		
△西三河剣道形講習・審査会(初～三段) 露橋		9:00	
※愛知県高専新人体育大会(個人) 露橋			
21日	△西三河剣道形講習・審査会(初～三段) 知立福祉アリーナ	9:00	
△東三河剣道実技審査会(初～三段) 豊橋市武道館		9:00	
22月			
23火	●剣道七段審査会 東京都足立区		
▲教士・錬士称号審査会 東京都			
●剣道四・五段審査会 瀬市総合センター			
※第64回東海学生剣道新人優勝大会 068剣道アリーナ			
※第30回東海女子学生剣道新人優勝大会 露橋			
24水	●剣道七段審査会 東京都足立区		
●剣道八段審査会 東京都千代田区			
25木	●剣道八段審査会 東京都千代田区		
26金	●剣道八段審査会 東京都千代田区		
27土	▲居合道・杖道合同稽古会 露橋剣道場	13:00	
※愛知県高専新人体育大会(団体) 天白			
28日			
29月			
30火			

備考 ●全剣連 ○全剣連関与 ▲県連 △県連関与 ※その他 *日程、会場の変更もありますので、必ず開催要項を確認下さい。

各地区自主練習開催日
名古屋…毎月第2月曜日・第4月曜日(19:00) 露橋 尾南…毎月第1火曜日(19:00) 東海市体育館
西三河…毎月第1日曜日(19:00) 東三河…毎月原則第4土曜日(14:00) 豊橋市武道館 ※5、8、12、1月を除く

令和3年度事業計画

一般財団法人 愛知県剣道連盟

12月				1月				2月				3月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時 間		全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時 間		全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時 間		全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時 間	
1 水				1 土				1 火				1 火	△愛知県女子剣道稽古会	日本ガイシ第3	10:00
2 木				2 日				2 水				2 水			
3 金				3 月				3 木				3 木			
4 土	▲県剣連稽古納め(剣・居・杖) △西三河剣道実技審査会(初～三段)	露橋		4 火				4 金				4 金			
5 日	△県スポーツ少年団剣道交流大会	刈谷市体育館	9:00	5 水				5 土	▲東海地区剣道合同稽古会 ▲居合道指導者講習会(5・6日)	日本ガイシ第3 露橋	15:00	5 土	○第24回全日本柔道選手権大会(5・6日) 幕張メッセ有明 △東海地区剣道合同稽古会 ※第60回東海私立大学剣道選手権大会	幕張メッセ有明 岐阜県大垣市 露橋	
6 月				6 金				6 日	▲居合道指導者講習会(5・6日) ※第65回中部日本剣道大会	昭和 西尾市総合体育館	9:30	6 日	△第67回東海四県対抗剣道大会 △第52回東海四県対抗居合道大会	岐阜県大垣市 〃	
7 火				7 土	▲県剣連稽古始め(剣・居・杖)	露橋	10:00	7 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00	7 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
8 水	▲監査			8 日				8 火				8 火			
9 木				9 月	※第28回東海学連剣友剣道大会 ※各南支部高校1年生剣道大会	昭和 稲永		9 水				9 水			
10 金				10 日				10 木				10 木			
11 土				11 火				11 金	※愛知南蒲業系高等学校体育大会剣道大会	中		11 金			
12 日				12 水				12 土				12 土	▲理事会・評議員会		
13 月				13 木				13 日	▲第70回全日本剣道所屬対抗剣道大会県予選会 ▲第14回全日本剣道所屬対抗女子剣道選手権大会	刈谷市体育館 〃		13 日			
14 火				14 金	※各北支部高校1年生剣道大会	枇杷島		14 月				14 月			
15 水				15 土				15 火				15 火			
16 木				16 日				16 水				16 水			
17 金				17 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00	17 木				17 木			
18 土				18 火				18 金				18 金			
19 日				19 水				19 土				19 土			
20 月				20 金				20 日	▲杖道講習及び審査会(級～五段) ▲居合道高段位受審者講習会 ※第9回東海高等学校剣道選抜大会	中 昭和 愛知県総合体育館 静岡県浜北市	10:00 10:00	20 日	▲第53回愛知県春季少年剣道大会	稲永	
21 火				21 土	▲居合道講習及び審査会(級～五段)			21 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00	21 月	▲居合道指導者講習会	枇杷島	10:00
22 水				22 日				22 火				22 火			
23 木				23 月				23 水				23 水			
24 金				24 火				24 木				24 木			
25 土				25 水	●杖道六・七段審査会	東京都江戸川区		25 金				25 金			
26 日				26 土	●杖道地区講習会(29・30日) ▲居合道・杖道合同稽古会 ※第22回名古屋市中区立高校剣道選手権大会	東京都江戸川区 露橋剣道場 露橋アリーナ	13:00 9:00	26 土	▲居合道・杖道合同稽古会	露橋剣道場	13:00	26 土	○第21回全国高等学校剣道選手権大会(26～28日) 春日井総合体育館 ▲居合道・杖道合同稽古会	春日井総合体育館 露橋剣道場	13:00
27 月				27 日	▲剣道称号選考会	枇杷島	9:30	27 日				27 日			
28 火				28 月				28 月				28 月			
29 水				29 火				29 火				29 火			
30 木				30 水				30 水				30 水			
31 金				31 日				31 木				31 木			

備考) ●全剣連 ○全剣連関係 ▲県連 △県連関係 ※その他 *日程、会場の変更もありますので、必ず開催要項を確認下さい。
各地区自主練習開催日 名古屋…毎月第2月曜日・第4月曜日(19:00) 露橋 尾南…毎月第1火曜日(19:00) 東海市体育館
西三河…毎月第1日曜日(19:00) 東三河…毎月原則第4土曜日(14:00) 豊橋市武道館 ※5.8.12.1月を除く

【資料室所蔵史料紹介】

「昭和二十五年一月三日開催

『第二回ジャパニーズフェンシング 都市近郷寒中対抗試合』プログラム紙」

敗戦（昭和二十年八月）後の占領政策における剣道禁止の状況は、『全日本剣道連盟五十年史』に詳述されるように、大変に厳しいものがあった。とくに極東委員会指令をうけての昭和二十二年四月十日付「教育制度刷新のための指令」では、剣道を名指して「剣道のように精神教育を助長する昔ながらの運動もすべて廃止せねばならぬ」とされたりした。ただ、剣道禁止は学校施設、公共施設では厳しく禁止の措置がとられたが、民間の剣道活動は民間情報教育局（CIE）の都市や地方、地区ごとの政策担当者の統制措置に、不統一な側面、柔軟な対応が見られたところもあった。

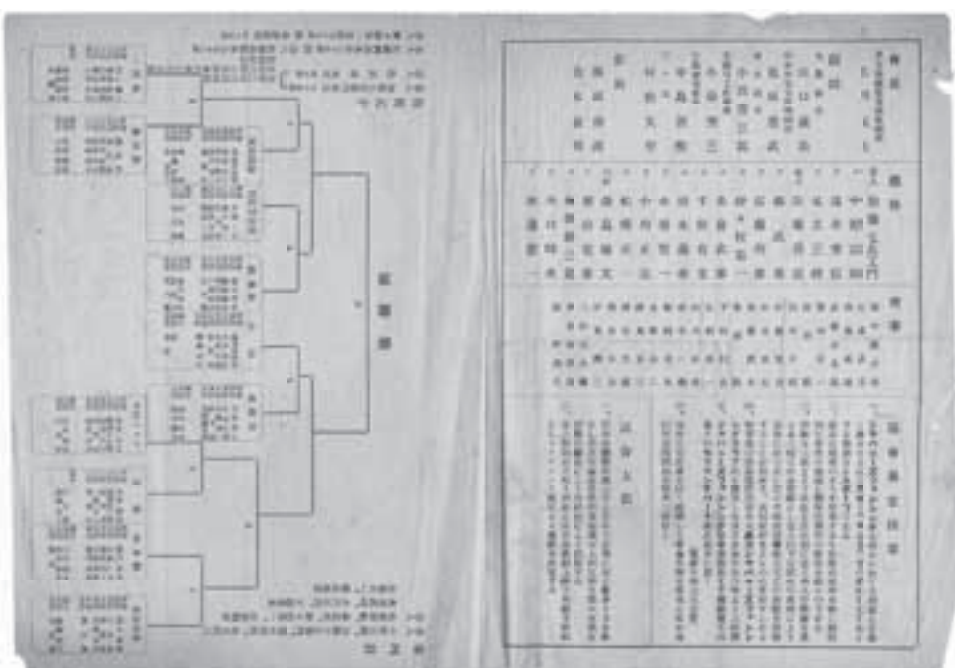
日々の耐乏生活にあっても民間の剣道愛好者は活動を続け、昭和二十三・四年ごろから地域的、組織的な活動が活発化した。東京では学生・卒業生が中心となって、昭和二十四年十月三十日に原宿会館（東京鉄道局道場）に集って「剣道競技」の大会を開催し、この時、東京剣道クラブが結成され、且つまた、すでにあった国鉄剣道クラブなどの組織を糾合して東京剣道連合会の結成と、「スポーツ剣道」と称する新競技を立上げての、その振興・普及を意図した。

我が愛知県でも、民間の剣道は根強かった。敗戦後の組織的な剣道復興活動も早かった。昭和二十三年秋ごろから森武雄氏がまとめ役となつて「Kendo 進駐軍慰問試合」を始めた。浅井季信先生、近藤利雄先生、佐藤善記先生、野々村策一先生らが積極的に活動され、旧国鉄名鉄局クラブや西尾町や平坂町のクラブ員が参加して、進駐軍関係者へむけて、Kendo=Japanese Fencing の紹介に尽力した。昭和二十四年十月二十二日に、地道な活動が実つて、「第一回ジャパニーズフェンシング都市国鉄対抗試合」と称して、Kendo=Japanese Fencing の大会を、名古屋市栄町の日活スタジオで開催するに至った。そして、愛知県下に「ジャ

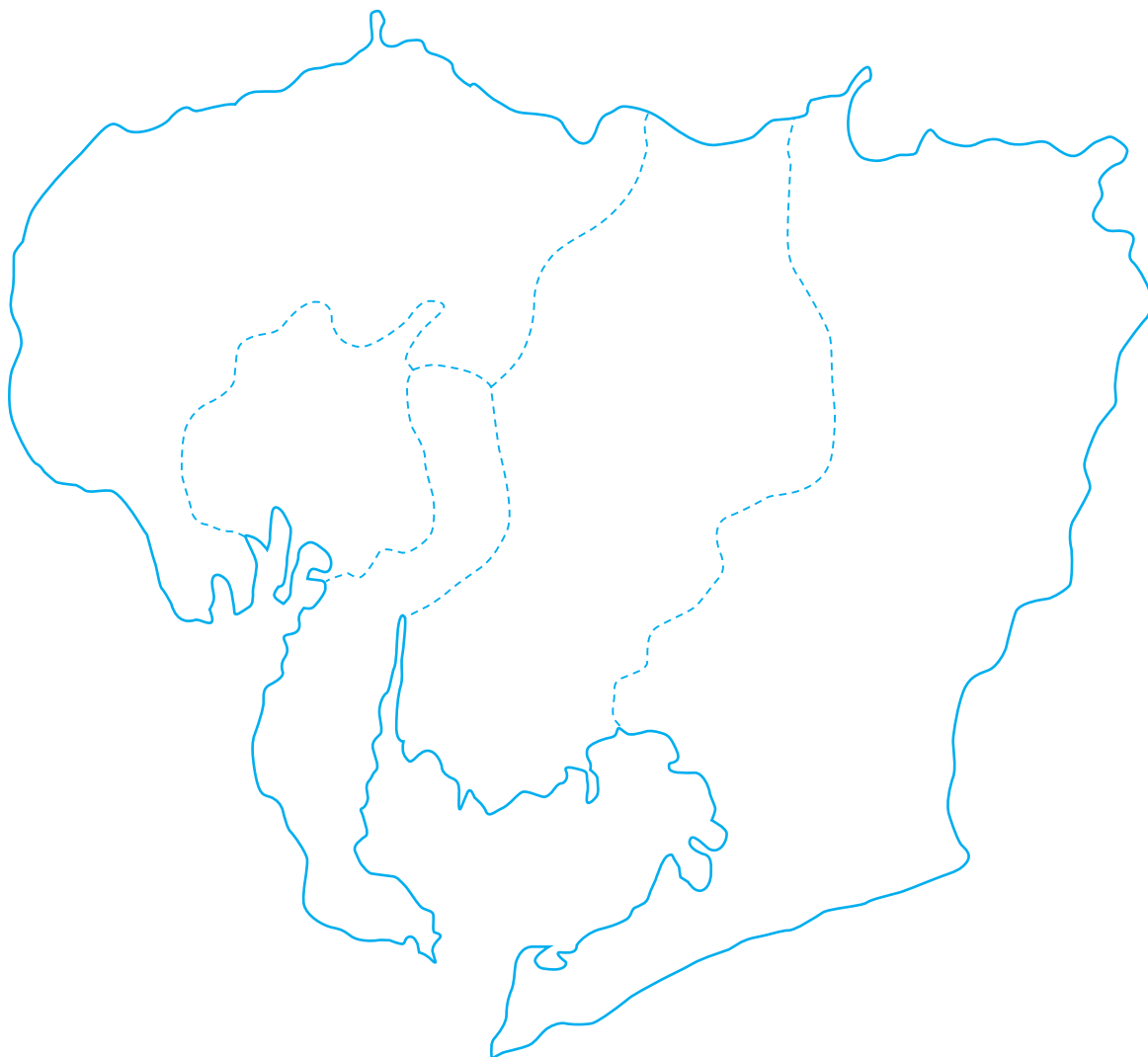


パニーズフェンシング」とその組織である「ジャパニーズフェンシング協会」の立上げを知らしめた。

さて、ここに資料室所蔵史料として紹介するのは、第一回から二か月と少し後の昭和二十五年一月三日、つまりお正月の娯楽スポーツとして開催された、第二回のジャパニーズフェンシング大会のプログラム紙である。第一回のプログラム紙は見つかっていない。あるいは当時の物不足の実情からして、作成されなかったのかも知れないが……したがって、本プログラム紙は、愛知県の戦後の剣道復活に至る経緯を知る上での最重要史料である。



プログラム紙の裏面には、ジャパニーズフェンシング協会の「規定抜粋」が示され、練習場を「笹島電停西南角名鉄局ジャパニーズフェンシングクラブ内」とし、協会事務局が「モリケンデパート森武雄方に置く」と明示されている。戦後の愛知県剣道の糾合・組織化はこのジャパニーズフェンシング協会を嚆矢とし、東京の剣道連合会の活動との関係から生じた愛知県剣道連合会（土川元夫会長）へと受け継がれていった。



広報「観の眼」第四十五号

令和三年六月二十九日発行

一般財団法人 愛知県剣道連盟

〒453-0035

名古屋市中村区十王町十一番

二十二号

電話 〇五二〇四八一〇〇九三
FAX 〇五二〇四八一〇〇九五

題字・故竹田弘太郎名誉会長